満洲之社會政題

社會研究

第四巻第壹號

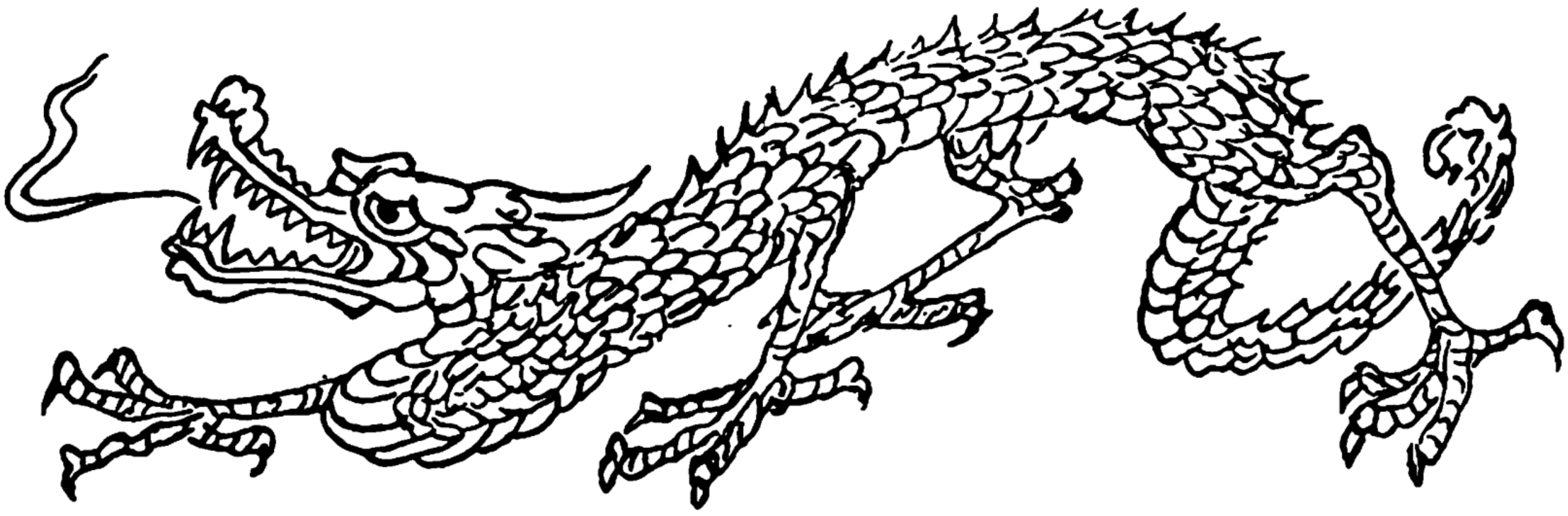
乙丑九月號

大正十四年九月一日發行（毎月一回一日發行）

重要目次

満洲社會事業研究會

資本金壹億圓



鐵道
幹線 四三九哩
支線 二五六哩
受託經營 七九哩

炭礦
撫順 埋藏九億噸
煙臺 埋藏二千萬噸

製鐵
鞍山 鑛區十一箇所 鑛量三億噸

埠頭
大連
安東
營口
上海

倉庫
大連
地域約十萬坪
棟數七十七
野積地域六萬五千坪
外ニ沿線三十二驛所ニ在リ

電氣
大連 奉天
撫順 鞍山
長春 安東
□點燈 □電鐵
諸工業運轉

水道瓦斯
大連 奉天
撫順 鞍山
安東
上下水道トモ殆ト沿線各地ニ普及

工場
大連 沙河口工場 電氣修繕場
遼陽
蘇家屯

教育
醫科大學(一)
專門學校(三)
中等學校(一五)
補習學校 四五
小學校(三二)
公學堂(一〇)
幼稚園(二六)
圖書館(二二)

衛生
醫院 二十二箇所
公醫派出 十五箇所

旅館
名稱 ヤマトホテル
所在 大連 星浦 旅順 奉天 長春

試驗ト研究
農事試驗場
中央試驗場
窯業工場
地質調査所
技術研究所

鮮滿案內所
東京 大阪 下ノ關

南滿洲鐵道株式會社

社會研究 第四卷第壹號（大正十四年九月發行）

資本金　八千萬圓
積立金　千百五拾八萬圓

一般銀行業務、外國爲替並日本銀行代理店事務を取扱申候
尚銀行勘定取引も精々御便宜に御取扱可申候

大連市西通二番地

朝鮮銀行大連支店

電話（代表番號八一〇二 / 宿直室用五七三二）番
振替貯金大連一〇〇〇〇番

本店　京城

支店出張所

内地　東京　大阪東區及西區　神戸　下關
朝鮮　釜山　大邱　仁川　平壤　鎭南浦　元山　群山　木浦　清津　會寧
滿洲（旅順　營口　遼陽　奉天舊市街及新市街　鐵嶺　開原　鄭家屯　長春　四平街 / 吉林　安東縣　龍井村　哈爾賓　傅家甸）
支那　上海　天津　青島　濟南
露領　浦潮　亞港（樺太）
米國　紐育

右ノ外倫敦、巴里其他内外樞要ノ各地ニ爲替取引先有之候

●資本金　貳千萬圓
●諸積立金　貳百四拾六萬五千圓

大連市大山通十一番地

株式會社 正隆銀行

電話代表番號七一一一番
振替貯金口座大連二三三〇番

頭取　安田善四郎
相談役　安田善次郎

●定期預金利子（一ケ年）七分
●當行は安田貯蓄銀行の代理支店として一般貯蓄預金を御便利に取扱申候
●當行は日本内地、朝鮮、南北滿洲、支那内地に於て約二千余の爲替取引先を有し候
●當行は關東州地方費現金並に大連市金庫事務取扱致候
●當行は臺灣銀行と特約を結び外國爲替取扱致候

支店（所在地）旅順、營口、奉天、撫順、開原、四平街、長春、鄭家屯、天津、青島
出張所（所在地）公主嶺、哈爾賓
派出所（所在地）大連市小崗子（電話五三〇〇）、同市沙河口（電話沙河口一五番）、奉天城内

一、資本金參千萬圓

一、一般銀行業務並ニ大連市金庫事務ヲ取扱申候

大連市伊勢町六十九番地

株式會社 滿洲銀行

電話四一二一番

振替貯金大連三三〇番

支店所在地

大連市山縣通、同小崗子、沙河口
金州、普蘭店、貔子窩、瓦房店、鞍山、奉天、
奉天小西關、撫順、本溪湖、安東縣、安東縣
興隆街、新義州、鐵嶺、公主嶺、長春、吉林

右ノ外內地、朝鮮、滿洲各樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

本店　東京市麹町區有樂町一丁目一番地

支店　大連、青島、奉天、哈爾賓、京城、釜山、大邱、大田、木浦、元山、裡里、沙里院、平壤、

出張所　間島

東洋拓殖株式會社

大連支店

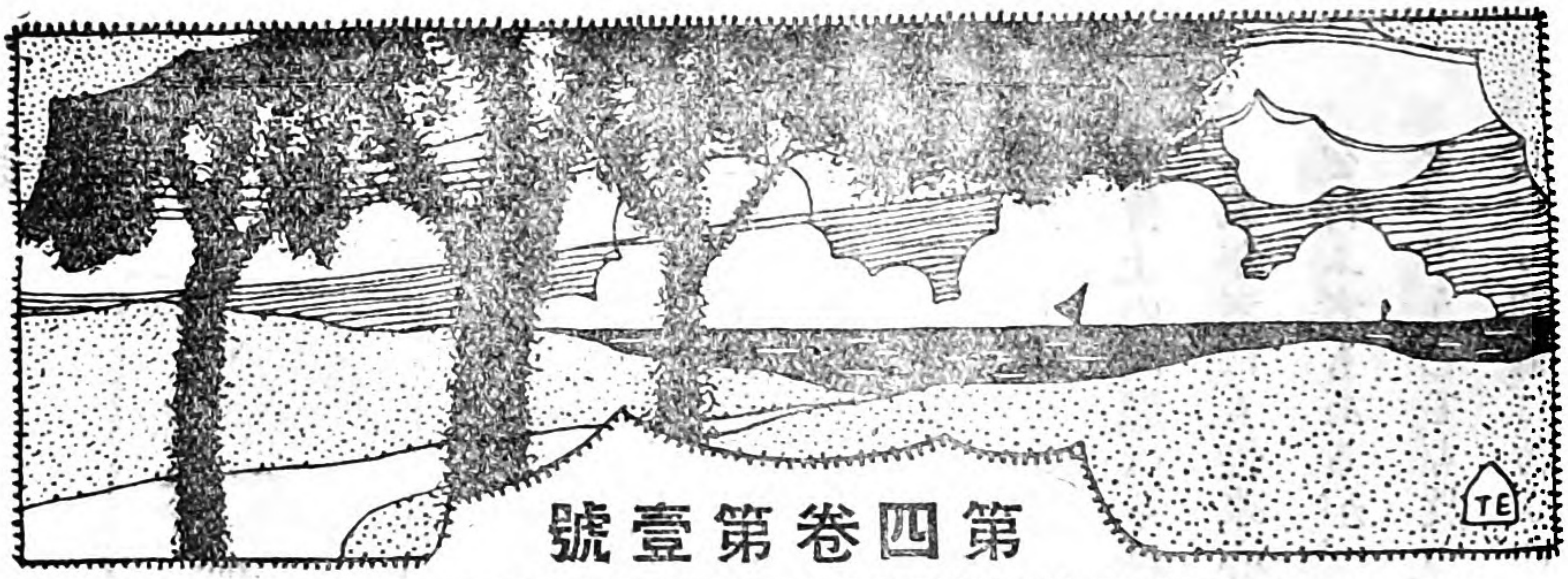
電話（長）七一四七番　七一四九番
振替口座大連一九七八番
受信略號タイレン、トタク

奉天支店

電話（長）六五七番　（[illegible]）三九七番
振替口座大連一九六八番
受信略號ホウテン、トタ

營業科目

一、拓殖ノ爲メ必要ナル資金ノ貸付
一、農業、水利事業及土地ノ經營
一、農業者ニ對シ其ノ必要ナル物品ノ供給及其ノ生產物品ノ分配
一、移住民ニ關スル業務
一、委託ニ因ル土地ノ經營及管理
一、其他拓殖ノ爲メ必要ナル事業ノ經營
一、定期預リ金



改題に就て一言

「滿洲社會事業研究會の機關雜誌『滿洲之社會』は第四卷第壹號の九月號より『社會研究』と改題する事とせり。改題の趣旨は單純なり、卽ち之を卒直にいへば社會問題は範圍極めて弘く、一地方、一局部に限るべきものに非ずして、廣汎に且多岐にこれを研究し論議し吹聽せざる可らざるを以て也。併しながら滿洲には滿洲の社會的特色あり、能くこの特色を認め、その特色を發揮し、その特色に適合すべき社會問題の研究と社會施設の要あるは論を待たず。改題の『社會研究』がこれを輕視すべきに非ざるは言ふ迄もなき事なり。

滿洲社會事業研究會は一種の指導機關、敎化機關なるを以て、研究、調査、論議、報道及び紹介と同時に、この本分に向つて今後益々鞭撻を加ふべきことも勿論なり。唯惜むらくは、資力尙ほ乏しく、會の根幹未だ堅からざるが故に、果して世人の期待に副ひ能ふや否やを危み居れり。されど至誠は必ず天に通ず。我々同人甚だ不敏なりと雖も、至誠奉公の精神は敢て人後に落ちざるの自信を有するを以て、百難を排し萬艱を突破して前途に驀進せんことを誓ふ。成敗の如何は天に在り、區々の人言、我に於て何かあらんや。

滿洲社會事業研究會は既に三年有餘の歷史を積みたり。この間いかなる貢獻を爲したるかは、我々自ら之を曰はず、一に公平なる人士の批判に待つの外なし。若夫れ本會の今日に至れる、一に會員諸君竝びに江湖博雅の士の厚情に負ふところ多大にして、我々同人の努力の如き、これに比すれば九牛の一毛にも若かざるべし。『滿洲之社會』を改題して『社會研究』となしたる今日以後は、各位厚庇の下に、一段と駑鈍に鞭打つて邁往せざるべからず。改題に方りて爰に聊か平生の志を敍べ併せてその所懷を陳ずること此の如し。



不良青少年少女

山田芙峰

不良青少年少女のことが今日一ツの社會問題となつたのは、彼等を憎み、彼等を忌み、彼等を咀ふが故ではなく、彼等を憐み、彼等を救ひ、彼等をその汚れより免れしめんが爲である。當今の社會には陰に陽に不良行爲を敢てする成年者が尠くない、卽ち背德、破倫、汚行を演じて社會に種々の害毒を流布する壯老年があり、その良心を痲痺し廉耻心を喪失せる者は、遂に犯罪者となつて法の制裁を受けるやうな事になる。社會の綱紀を肅正し、又その廓淸を圖る上から、此の如き不良行爲を敢てする成年者を見逃がして可いといふ道德はない。これも固より社會上の一問題だ。併し乍ら不良者少年少女に關する社會上の問題はそれと切離して考ふべき一種特別の事柄である。

成年者にも性來心の邪けた者があり、恒產なきために恒心なく、謂ゆる浮浪の徒として良からぬことを行ふ者もあるが、未成年者たる青少年少女の不良行爲は、光ある彼等の前途を暗くすることになるので、どうしても放つておけないものである。未成年の多くが墮落すると、さなきだに不良成年者のためにいゝ加減に汚されたこの社會がます〳〵汚され、その汚された社會のためにいよ〳〵多くの不良者を

作ることになる。この點よりも青少年少女の不良行爲は之を放つて置くわけに行かないのである。未成年者禁酒法が實施されたのは何故なる乎、それは思慮の未だ定まらない、一本立ちの出來ない、さうして動もすれば社會の環境に左右され易いものが酒を飮むと、その心が放縱となり、知らず識らず罪を犯すやうになるからで、未成年者禁酒法の精神は要するに彼等を保護しやうといふ所にある。不良青少年少女のことが社會問題の一ッとなつたのも、その精神はこれと同一で、つまり彼等をその汚れより救ひ出し、さうして彼等を保護し、更に進んで彼等を善導しやうと云ふのである。

いかにして不良青少年少女を救濟、保護、善導すべき乎といふに、それは要するに家庭、學校、社會の三者相待つてこれに當るの外ない。物品を盜んだり、掻ッ拂ひをしたり、萬引をしたり、騙りをしたり、亂暴をしたり、惡戯をしたり、或はまた性的不良行爲をする未成年者のうちには、先天的の不良者もあるが、その多くは家庭の不純と、敎育の不滿足と、社會の惡感化によるのであるから、彼等を眞に救濟、保護、善導するには、家庭、學校、社會の三ッの力が相協戮して掛らねばならぬのである。家庭においては、常にその純潔を保つことが何よりも大切だが、別して母性愛を尊重し、それによつて子供がすら〳〵と生ひ立ちゆく樣にせねばならぬ。ブルジョア階級の婦人のうちには、家鴨のやうに子供を生み放しにしてそれを乳母、子守、家庭婦などに任かせてゐるのがあり、又敎育を受けた女子のうちには、自己の虛榮にのみ憂身を瘦して大事な子供の家庭敎育を顧みないものもあるが、斯うした家庭から

は決して善良な青少年少女の出る筈がない。貧困と窮乏と不衞生なプロレタリア階級の家庭から不良青少年少女が出るのは、寧ろ當然だといへるが、生活に困らない貴族や富豪の家庭から不良な未成年者が出るのは、つまり母性愛の行屆かぬ爲である。形式的の學校教育、智育偏重の學校教育、詰め込み主義の學校教育、それ等が青少年少女を良化しないことも勿論である。

社會的の救濟、保護、善導は最も大切である。元來未成年者の保護又は善導は社會の當然負擔せねばならぬ事柄で、この故に兒童保護といふことが重んぜられ、それが一ッの社會事業となり、孤兒、棄兒若くば迷兒、不良兒、浮浪兒及び犯罪兒、養兒、胎兒、乳兒又は幼兒、低能兒、白痴兒等に關する保護法とその機關が必要となつて來た。我國にはまだ少年保護法の實施を見ないが内務省社會局にはその草案が出來てゐる筈だ。謂ゆる兒童保護は以上に止まらず、更らに母子扶助、勞働兒保護、兒童虐待防止兒童の禁酒及び禁煙にまで及び、兒童保護委員會を設置し、尙は胎兒及び乳兒の保護については巡回產婆、分娩手當費補給、產院、育兒相談所、保育所等の施設までせねばならぬ。之れに對し國庫も地方費もその一部を割いてこれを補助せねばならぬのである。兒童保護に關する我國現行の法制は、明治初年太政官發布の恤救規則並びに棄兒養育米給與方と、行旅病人取扱に關する法規中の兒童に關するものと工場法中の兒童に關する規定などで、極めて不備であるから、我國にも速かに兒童保護法を制定實施せねばならぬのである。この兒童保護は次代の國民を健全にすると云ふ目的を有つたもので、この目的か

らいっても、不良青少年少女に關する社會的保護の必要なるは明白だ。

感化院はその社會的保護機關の一ッで、我國には明治三十三年に感化法が施行され、四十一年にそれが强制法となり、本國の各府縣では感化院を設立せねばならぬ事になつてゐるが、我國の感化事業は猶ほ甚だ幼稚である。その後わが國は全國に國立感化院五箇を設立經營することになつたけれども、これも進捗極めて遲々たりで、現在出來てゐるのは埼玉縣足立郡大門村の武藏野學院ぐらゐなものであらう感化院のみで不良青少年少女の保護善導が滿足に出來ないとすれば、これを補ふべき他の社會施設が必要となるわけであつて、今日東京と大阪とに設けられてある少年審判所と少年矯正院とは、不良兒に對する比較的進歩した保護善導の機關である。この二ッの機關は、大正十一年四月發布された少年法及び少年矯正院法によつて作られたもので、この法律は少年犯人並びに罪を犯す虞ある十八歲未滿の不良少年にのみ適用されるのである。十四歲未滿のものは刑事責任がない。青少年少女の犯罪に向つて直ちに刑罰を科するときは、彼等を自暴自棄に陷らしめ、却つて惡化の憂あるのみならず、未來に富んだものを罰して暗い身の上にしてしまふのは、決して良いことではないので、重大なる罪を犯したものや性來の頑强なる惡質者を除いて、少年犯人はこれを少年審判所に送りて先づ保護處分をなし、次にその善導矯正に努むるため矯正院に收容するのである。この故に少年審判所には審判官の外に少年保護司なる者が置かれてある。ベルギーには懲治監と感化院とを一ッにしたやうなエコールド・ピヤンフザンスと云

ふ保護機關があつて専ら少年犯人を感化善導してゐるさうである。

全く不良化した青少年少女はこうした社會的、國家的機關によつて保護善導するの外ないが、今日の社會、殊にマテリアリズムで人間味の乏しい都市の社會は、成年者にさへも悪い感化を與へるから、摸倣性と感受性に富んだ未成年者は、餘ほど意志の固いものでないと、その環境に左右されて不良化し易い。營利的活動寫眞館や、カフエーや、興味中心の種々なる興行物や、これ等が青少年少女の多くを魔道に陷ることは、世間周知の事實で、そこにこれ等の取締りもまた必要となつて來る。都市はこれを一面より視れば罪惡不倫の巷で、不良青少年少女が殊に都市に多いのは、卽ちこの故であるから、種々の社會施設を整ねて絶ねずこれを淨化することに勗めねばならぬが、青少年少女を惡化する雜多の誘惑物は嚴重に之を取締ると共に、家庭においても、學校においても、社會の淨化作用と相待つて、未成年者を社會の惡氣流に觸れしめぬやう出來るだけの手段を講ぜねばならぬ。

次に小學校を卒業して直ぐ職に就かねばならぬ少年少女のために適當な職業を指導することも一ツの救濟事業だ。少年少女を遊ばしておくと、兎角惡い方面に傾き易いもので、そこに職業指導といふことが必要となつて來たのである。大阪市では既にこれを始めて可なりの成績を擧げてゐる。この少年少女の職業指導は、普通一般の職業紹介とは全くその性質を異にしたもので、その少年少女の將來を十分に考慮し、さうして其の性質と能力に適合した職業に就かしむるのである。それから之れは主として家庭

の任務だが子供に買喰ひをさせぬやうにするのも兒童不良化の豫防手段である。一たん子供に買喰ひの癖をつけると、十分に買喰ひの出來ないときは、ツイ盜み喰ひをしたり、金を盜んで買喰ひをしたりする樣になる。或向で調べた所によると、保護を要する不良兒の多くは發育不良であるが、その健康の普通でない原因は、營養不良のためではなくて、無暗に買喰ひをするために消化器を害した爲めであると云ふことだ。第一子供に買喰ひの癖をつけると、それが習ひ性となつて、更に浪費癖が出で、遂には金箔付きの不良兒となつてしまふから、吳々も家庭の注意を望みたいのである。

猶ほ最後に一言したいのは法の罪を犯すまでに至らない未成年者を一概に不良青少年少女として誇張的に吹聽してはならぬといふ事である。親の脛を嚙り、他の給與を受け、學校においてひたすら勉學せねばならぬものが酒や女に狂ふのは、勿論良くないことで、それを放つておくと、遂に全く不良化して法の罪を犯すやうになるが、これに不良の二字を冠して惡ざまに言ふのは酷である。法の罪を犯したものでさへ、保護善導すべきであるとすれば、況んや不良青少年少女の卵ともいふべき彼等は一層進んでこれを救ふべきが當然だ。要するに不良青少年少女は家庭、學校、社會の三者相待つて、或時は內面的に、或時は外面的に、救濟、保護、善導せねばならぬのである。

× × × × × × × × ×

帝國主義

◆三宅雲嶺翁は八月號の『我觀』に『帝國主義の意義』と題して『皇帝を奉戴する國』を帝國主義國と倣ずの甚だ謬れる所以を例の筆鋒で縱横に論じた◆インペリアリズムはエムペロル卽ち最高君主から出た言葉で譯して『帝國主義』といふのであるが此の主義が侵略政策の別名となつたのには大いに曰くがある◆例の自由競爭の下に弱肉强食が無遠慮に行はれたとき歐洲の帝國といふ帝國は中央亞細亞にアフリカに極東に南洋に侵略の手を伸べた◆最も酷く支那を苛め付けたのは英帝國でアフリカにも盛んに魔手を揮ひ遂に海上の覇王となつて所謂グレート・ブリテンを中心に日沒せざる世界の全盛國となつた◆これに拮抗して弱肉强食を如實化したのは獨逸帝國と露西亞帝國でドイツは彼のウヰルヘルム第二世の辛辣なる手腕によつて歐洲大陸の中原からアフリカに中央亞細亞に果ては支那にまで侵略主義を行つた◆一八九七年十一月山東省曹州府下張家莊における宣敎師二名の殺害事件を種にこの帝國は軍艦を派して膠州灣を占領し同時に山東省における鐵道布設權と鑛山開掘權を得た◆これは英國における支那の勢力に對抗せんがための謂ゆる權力平均策から割り出されたものだが其の遣口の亂暴には誰しも驚いた◆露西亞帝國の極東政策に至つては更に一層猛烈を極め時の淸國政府を脅し付けて先づ黑龍口の北部と沿海洲一帶の地を獲得し◆一八九六年には東淸鐵道を布設して北滿より南滿にその勢力を伸張し旅順及び大連を租借し庫倫活佛を擁して外蒙古にまで暴威を揮つた◆帝國といふ帝國が斯樣な侵害政策を行つて弱肉强食を如實化したのでインペリアリズム卽ち侵略と云ふことになりさうして弱小國及び弱小民族の呪ひの的となつたのだ◆併し高壓的に他の弱味に附け込んでその土地を奪つたり利權を捥つたりしたのは帝國のみではなかつた◆大統領を戴く共和國のフランスもドイツのウエルトポリチツク程でなかつたにもせよ各方面に競ふて自己の勢力を扶植するに勗め支那に對しても可なりに惡辣をやつたのである◆卽ち先づ支那の屬國であつた安南を自己の掌中に收め種々の利權を獲得し一八九九年には廣州灣を租借するなどの侵略を敢行した◆イギリスが鴉片戰爭を起して香港を奪ひ取り一八五六年のアーロー號事件を動機として支那より九龍を割讓せしめ更に緬甸に西藏に長江一帶に勢力を張つたのに比べるとフランスの遣口は知れたものであるとしても侵略主義の國であつたこ

とは明瞭だ◆前記アーロー號事件の時にはイギリスの相棒となつて英佛聯合軍を組織しさうして當時の清國兵を思ふさま叩き付けたのである◆獨りアメリカのみは支那の土地を强奪する樣な事をしなかつたがソレはその機會を逸したことゝアメリカの土地が廣く豐かで他の土地を侵す必要がないからであつたのだ◆支那の領土を侵略しその主權を蹂躙しなかつたアメリカも布哇を丸呑みにしキユバ、ポウトリコ、ヒリツピン等を嘗め取り排日で名高くなつたカリフオルニアもカナダから奪ひ取つた土地である◆この事實から見て帝國だから侵略をやると云ふ斷定の甚だ間違つてゐることは明瞭で隨つてインペリアリズムを帝國に限ることの不合理なるは最も明白である◆キングの國を獅ヽカイゼルの國を鷲ヽザーの國を熊に譬えたのは猛獸のやうな弱肉强食をやつたからであるが歐洲大戰と共にその猛獸國たるロシアとドイツは革命でぶつ倒れた◆さうしてドイツは共和國となり膠州灣を根基として山東省に伸びた侵害の手を引込めたがソレハ餘儀なく引込めたのである◆社會主義的ソヴエート聯邦共和國となつたロシアはロマノフ朝廷を戴いた帝政時代のロシアのやうな武斷的侵害はやらないが一種の專制主義でもつて隨分と他に脅威を感ぜしめるやうな高壓的態度に出ることがある◆支那に對しては極めて甘いことを言ふが東支鐵道を中心に北滿洲における利權は堅くこれを握り占め支那の藩屏ともいふべき外蒙古に向つては帝政時代のロシアと同樣に赤衞軍を送つてこれを占領した◆その後赤衞軍はこれを撤退したと云ふけれども外蒙古の各王公を籠蓋して依然外蒙古を自家藥籠中のものとして居るなどは押が强い◆押が强いと云ふことは他を壓迫する意味で得意の赤化宣傳もこの押の强さで支那のハイカラ連中や國民黨の政客に利用し利用されつゝ潛在的にグン〱進んで行くのだ◆反帝國主義を唱えて帝國たる日本やイギリスに當り散らす支那のインテルゲンジアはこの勞農露西亞の遣口を何んと思つて居るか◆一番酷く支那を苛め付けたイギリスを支那民族が呪咀するのは成程と合點されるが侵害の意味からではなく自然に伸びて行つた日本の勢力を日本が帝國だからと云つて反帝國主義の下に排斥しやうと色んな細工をするのは不條理千萬である◆或る意味から云へばアメリカの遣口は資本主義的侵略であり今日のロシアの遣口は社會主義的侵略である◆帝國主義即ち侵害であるといつて帝國をのみ敵視するの大間違ひであることは極めて明瞭である。



國家的社會政策と滿蒙

前農商務次官　鶴見左吉雄

國家的社會政策の上から考察して、我が日本と滿蒙とが如何なる關係を有するやの問題につき、私はその所見の概要を爰に說いて見ることゝする。人口問題、食糧問題並びに原料の供給問題は將來の我が國運民命を左右すべき現時の最も緊要なる國家的社會問題であるが、日本々國だけの生産即ち物資を以てしては此の重大問題の解決は事實甚だ困難で、この事は旣に世人の熟知する所であらう。然るに幸ひにも天惠極めて豐富なる滿洲、蒙古等の廣大なる生産地が我が特殊の地域となつて居るため、有無相通じ、長短相補ひ、そこに我が社會上の大問題を解決すべき關鍵が握られてあるのは、何よりの慶事と言はなければならぬ。そこで私は兩者間の交通貿易をば將來層一層發達せしめ、完備せしめ、それに依つて我が國民生活の基礎を永久に鞏固ならしむると共に、進んでは友邦國民の需要にも應じ、相互慶福の增進に努力せねばならと共に、それがまた我が當然の責務であると信ずるのである。

試みに滿洲一帶から蒙古地方の現狀を一瞥せんか、交通機關未だ十分發達せず、産業の開發も尙ほ豫定通りに着手されて居ないけれども、此の地方の天然資源の極めて豐富なることは確實である。現に種々の食料品とか、燃料即ち石炭とか牧畜業並びに畜産物とか、鑛産品とか云ふ種類の生産物が殆ど無盡藏と稱せらるゝ位で、人間生活上の必需品は大抵産出されない物はないと言つて可い。且その産額多大なるが爲め價格も低廉なることは是れ又世人の周知する所なるべく、産業地として實に大なる價値を具えてゐる。翻つて我國の現況如何と顧みるに、旣に世上識者の論ずるが如く、遺憾ながら

我國は天然資源の恩惠に乏しい國柄であつて、國民が常食とする所の米すらも供給難を感ずること甚しく、今や年々數百萬石を輸入品に仰がなければならぬ狀態である。その他小麥も外國から購入しなければならず、雞卵の如きは日本內地においても副業的に出來る生產品でありながら、尙ほ且その需要力を充たすこと能はず、毎年支那から約二千萬圓弱輸入して居る。その他服地の原料たる棉花、羊毛、麻を始め日常生活上の必要品は過半之を海外諸國からの輸入に俟つといふ實狀で、我國が殘念ながら天與の惠澤に缺ぐることは爭ふ可らざる事實である。然るに一面においては人口が逐年盛んに增進して行き、また他面においては物價が騰貴して國民の生活を苦めるので、その結果として、國民生活に二重の壓迫を受けてゐる。日本內地に產業發達の餘地が全くない譯ではないけれども、日本內地の情態を以てこれを滿蒙地方の現狀と比較する時はその間の差非常にして到底同席の談ではないのである。

滿蒙の現狀は大略右に述べた通りであるが、向後世界の文化が益々進むに伴れ、この地方が漸次開發の途に就き、年一年益々有望の地と化することは毫も疑ひを要せざる所である。既に日支兩國の條約上で協定されてある滿蒙五鐵道中の未設線や或は約束が出來て前金まで交付した吉會鐵道その他の鐵道が敷設されたら、彼我の交通貿易は今日よりも一層便宜を得、滿蒙地方へ移住する日本人の努力と覺醒せる支那人の努力と相俟つて、滿蒙方面を東洋否世界の一大富源地と化せしむること敢て難事ではあるまいと考へられる。由來我國の滿蒙地方に對する關係は非常に深い、殊に滿鐵沿線の如きは日支兩國の特別條約に於て種々な權利を有して居る所であるし、また關東州の租借地に至つては日本の領土と殆ど同一事情の下に置かれてある處である。滿蒙は支那の領土とは言ひながら他の地方とは全然事情を異にして居る。換言すれば日本人が此等の土地に移住し發展することは既に條約に依つて保障されて居り、農業に從事することや、鑛山を開發することとや、居住往來することとや、その他種々なる既得權を有して居る。然るに緊要なる土地商租が今日に至るも尙ほ細目の協定成らず、他にも種々の障害があつて、滿蒙開發の實績が擧がらないのは遺憾に禁へない。近頃は政府當局と言はず、一

般國民と言はず、滿蒙開發に對する熱心と努力が些か減退して來たやうな感じがするが如何であらう乎。私の見る所では今日滿蒙方面に向つて活躍せんとする所の日本人の氣力を、初めて滿蒙開發の特權を得た當時の熱心に比較すれば、その及ばざること甚だ遠しとの歎聲を發せざるを得ない。右は勿論長い間の年所を經たる實驗の結果たるべく、事業經營の方針が守勢の方面に傾いて來たのは、事情或は已むを得ない所であるかも知れないが、人口問題、食糧問題等の國家的社會政策の大所から考察すれば、滿蒙に對する退嬰主義、消極主義の非なるは勿論で、更に積極的に同地方の開發に努力せざる以上、國運の振興得て期す可らざることゝ思はれる。但し最近に至り邦人の滿蒙方面に對する注意が幾らか深くなり同時に餘程新たなる色彩を帶びて來たことは悅ぶべき傾向である。

抑も滿蒙に對する邦人企業の目標はこれを那邊に置くべきかと言へば第一には農牧業であると思ふ。農業としては水田開發を始め砂糖、棉花及び果樹の栽培なぞ有望であることは諸種の調査報告が之を明示してゐる。近時北米方面における日本人の移住企業が非常に面倒になつて來た結果、漸次方向を轉じて滿蒙へ移住し、この地方において米國式の農園を開かうとする人も大分見えるが、その成績は決して悪くないやうだ。斯うした新組織の下に新事業を起したならば一層有利な效果を擧げ得るに違ひない。元來滿蒙は各種の工業原料に富み、勞賃の如きも非常に低廉だから、何うしても大小各種の工業が盛んに發起されなければならぬ運命を有つて居る。例へば低廉な勞働を利用し、豐富な鹽を利用して曹達工業を興すも可い、或は各種の化學工業を起すも可い、或は豆粕から豆油を製するも可い。或は高粱を利用してウヰスキーを釀造するも可い。斯うした種類の新事業は現在以上まだ多分に存在する。その他綿布工業の如きも日本人が支那人と協力合資して經營したならば現在以上に進むに相違ない。牧畜業の將來もまた多望である。日本内地に於ては殆ど增殖の見込なく而も需要力多大なる生牛、羊毛の如きも今後は滿蒙方面の供給に仰ぐより外道があるまい。更に商業即ち貿易方面から觀察するに、今次彌々日露通商の途も開かれたが、近き將來滿蒙に種々の鐵道が開通することゝなれば、自然その沿線地

方における産業の開發が促成せられ、各種農産品の海外輸出を見るに至るべく、その結果この地方の購買力が增進して來るから、之と共に日本製の需要品が漸次輸出される様になるのは自明の理である。

斯くの如き前途多望なる大産業地が夙に我國と重要關係を結び居る以上、國策上から論じても、個人企業の立場から考へても、我が國家的社會政策即ち人口問題及び食糧問題の上から觀察しても、工業原料、燃料問題等の上から考えて見ても、將來此の方面に多數の日本人が移住して仕事をしなければならぬ必要が痛切に感ぜられる。尤も移植民には太した見込はないけれども、國民生活の上から言つて、工業原料が豐富で産業發達の望みあり、從つて亦その收益も多かるべき滿蒙の拓殖事業は之を振興し、日支兩國間の關係を密接にし、經濟上の聯鎖を鞏固ならしめ、併せて我國の人口問題、食糧問題の解決に努むる所がなくてはならぬ。滿蒙には支那人といふ生活程度の低い、勞働賃銀の廉い、其のうへ非常に勤勉で如何なる勞役にも堪へる民族がゐるから、勞働は寧ろ支那人に委せて、日本人は他の企業的移民の法を採らなければならぬ。此の事は我國の社會政策上頗る必要なことであると思ふ。

次に私の希望は農業にせよ、工業にせよ、商業にせよ、滿蒙における總ての産業に着手する人物か常に穩健着實を信條として其の事に當らなければならぬと云ふ事である。一攫千金の奇利を夢みつゝ漫然投機的の浮いた仕事を試みやうとするが如きは絕對に之を避けなければならぬ。此事に就いては旣に活きた敎訓があつた筈だ。尙ほ私の希望は、現に滿蒙に住する日本人は言ふまでもなく、向後この地方へ移住し企業せんとする人々は、總て永住の精神を有つべきであるといふ事だ。一時射倖的のボロい儲けをして百萬長者となり、日本へ歸つて贅澤三昧な生活を誇らうとするやうな輕薄陋劣なる慾望の下に事業に當つたとて、それは到底成立すべきものでない。そんな舊式の不合理な企業慾は最早今日では實現の可能性を失つたものである。今後は何處までも堅實的確なる方針の下に、各自その地を以て墳塋とする決心を要するのみならず、その子孫も亦その地に定住して其の事業を繼承し、更にその繁榮發達を圖るべく永久的基礎を築かなければなら

ぬ。今日までの情態を見るに、事業の成敗如何に拘らず、滿蒙地方へ永住するもの少く、大抵は皆內地へ歸つて來るやうだが、それでは折角の滿蒙拓殖事業が遂行さるゝ望みがない。故早川千吉郎氏が滿鐵社長であつた當時、滿鐵社員に對して廉價に住宅を供給し安全且愉快なる生活を爲さしむる目的にて、內地の保險會社から低利資金を借りて住宅組合を設けたが、永住土着思想を養成するためには、この種の社會施設を始め、尙ほ種々の社會施設をせねばならぬ。この上から云つて私は滿洲社會事業研究會の奮勵努力を望まざるを得ないのである。

更に希望したいのは各種の試驗的事業を起して日本人の事業を有利堅實ならしむる奬勵機關としたい事である。滿鐵には既に中央試驗所が設置せられ、種々の須要なる調査に從事して居るが、之れは最も有益な事である。庶幾くば此種機關が擴張せられ、其の試驗調査の範圍も擴げられて、處々に支部なども數多設置せられ、各種產業上、工業上の經濟的調査研究を試み、成るべく速かに其の成績を發表して、當局者も、民間の企業家も、之を以て立案投資の指針と爲すやうにしたいものだ。今一つの希望は、我國の滿蒙拓殖事業を遂行する爲めには、成るべく高級な移民を彼地へ送ることゝ、また我が移民をして永住的決心を持つて愉快且安全なる生活を營ましむる爲め、關東廳、滿鐵會社等において、日本人が相當の數に達して集團生活を營むに至つた處へは、各種の必要なる社會的設備を施すべしといふ事である。則ち學校、病院、公園、社寺、墓地等を始め、公設質屋とか、公設市場とか、信用組合とか、その他種々の社會的施設をなし、住民の福利增進を計り、共同的に生活し發展せしむる途を講じなければならぬ。經濟的に進み、文化的に進むと共に、更に社會的に進むに至つて、始めて滿蒙開發の目的が達せられるのである。關東廳でも滿鐵でも是等のことに對しては十分援助を與えて然るべき筈で、今後はその方面にも力を致して貰ひたいものである。

× × × × × × × ×

富籤と社會公益事業

富籤と社會公益事業
南米ペルーに於ける日本人の母

南米事情研究會幹事　影山知二

何人でも一度南米ペルーへ行き或る都市の街頭に立たん乎、キニエントス、クブラス、パラ、オイ（今日の五千圓お試めしになりませんか、紳士よ）と叫びながら電車、劇場、活動寫眞館、公園、寺院、停車場など公衆の集合する場所に於て、六七歳の兒童や七八十歳の老婆等が手に〳〵活動寫眞館の入場劵やうな紙片を捧げつゝ、道行く人々に向ひ何卒一ツ買つて下さいと勸めるのを見るであらう。殊にその附近に見馴れぬ外國の旅行者でも居るとしつこく附き纏つて來て如何に要らないと斷つても何の彼のといつてなか〳〵去らない。果てはホテルまでも追ひ縋つて來る。それで『あれは一體何だらう』と何人も奇異の感に打たれるのであるが、之れは決して不思議な物ではなく、ブラジル、チリー、ペルー等の南米諸國において常に行はれて居るところの富籤なのである。

その富籤は一週に二回宛五千圓當りのものが發行せられ、あわよくば五十錢で五千圓を當てるのである。之れは普通の富籤であるが、此の外一年に三四回、即ち主としてカーニバル（謝肉祭）、獨立記念祭、クリスマス祭等の祝日には、十萬圓、二十五萬圓、百萬圓當り等の大物も發行される。數萬人、十數萬人の中の一人が目標とする大きな當り籤を得るに過ぎないので、如何にも馬鹿氣きつて居るやうに考へる人もあるだらうが、實際は大變な人氣を呼んで非常に賣れる。現にペルーで十萬圓を當てゝ最近歸朝した僕の友人もある。之を聞く人は之を以て單に人の射倖心をそゝる投機的行爲だぞと

罵つて憤慨したり嘲笑するかも知れないが暫らくそれを控へて貰ひたい。その恚る前、笑ふ前にこの富籤に依つて如何なる社會事業が經營されて居るかを知つて貰ひたいのである。

この富籤は同國の慈善協會によつて經營發行されて居るものであるが、競馬その他賭博に類した競技に課税したる一切の收入と合せて、之が各種社會事業施行の經費に充てられるのである。現に之を資金として首府リマ市のみにても寢臺二千餘を有する大病院を始め、九個の大なる婦人病院、精神病院が設けられてあり、全國に亘つては實に二十個以上の大病院を設立して經營し、尙ほその外に育兒院、學校、貧民救濟目的の慰安住宅までも經營されて居る。此くの如き大規模の事業の經營に當つて居る慈善協會のことであるから、その總裁には成るべく有力なる人物を擇び、大學總長、大統領等に任ぜられた者の中から國民の信任の厚い人格者が推薦されることになつて居る。

ペルー國慈善協會の經營に係る病院中、首府リマ市に設けられてあるドスデマーヨ病院は、規模の廣大、設備の完整、成績の優良等の點に於て南米第一と稱へられて居る。各專門によつて四十餘棟に區劃された大病室を有し之れに備へ附けた患者の病床實に二千を超えて居る。そして病院專屬醫師の外、リマ市に開業して居る總ての醫師は、二ケ月宛の輪番を以て、一日一回、午前若くは午後に必らず此の病院の入院患者を回診しなければならぬ規定になつて居る。その上各病室の主任醫は同市の醫師會の指名に依つて選定されて居るといふ有樣で、單にこの一事によつて見ても、その診察、治療等に對し如何に愼重なる注意を拂つて居るかの一端が窺ひ知られるであらう。

次に患者が入院したり又は診察を受けるに當つても、その手續は極めて簡單で、瀕死の病人を前にしながら家族があるとか警察署や役場の證明書を取つて來たか何うかとか、云ふやうな常識はづれの煩雜な手續は少しも必要でない。如何なる患者でも一たび此の病院の門を潜つた上は、自由に專門醫師の診察が受けられ、必要と認められた場合にはその時その場から直ちに入院を許して收容するのである。その際には氏名、年齡、若し患者が外國人の時にはその國籍を問はれる位

なもので、强ひて言へば之れが則ちその手續なのである。

院内にサラデパゴ即ち入院料支出室と云ふのがあるがこの病室を希望する者は一日三圓の入院料を支拂ふことになつて居る。この室の患者と他の施療患者との間には、治療上の差別は全然無いけれども、唯この室の患者は人との面會が自由に出來るのと、自己の指定せる院外の醫師に立合診察を求め得ることゝの特典が與へられて居る。此のサラデパゴの中にサンビセンテといふ病室かあつて在留邦人は之をサラデハポネス（日出人の室）と呼んで居る。其處には四十四個の寢臺を備へてあるが、一萬二千の在留邦人中、その約三割は折々この室のお世話になるのである。斯く多くの日本人が罹病の際特に此の室を選んで入院するのは何故であらう乎。一見不思議のやうで實は不思議でも何でもない。その理由はこの室に『日本人の母』と稱せられて居るマードレ、フランシスカ孃が居るからである。

南米全土は今から約四百六十有餘年前にコロンブスの亞米利加發見に續いて葡萄牙人、西班牙人等が、右手には劍、左手にはカトリツク、ローマ教のバイブルを持ちながら、名を布教に藉つて同地の先住民族を征服した處であるが、その後本國政府が餘りに苛酷な施政を行ふので、住民が奮起して之に反抗し、今から百餘年前に西班牙、葡萄牙等の統治下を離れて獨立し、遂に九ケ國の共和國を建設するに至つたのである。そして政治の實權を握つて居るのはラテン系の人種であつたから、カトリツク教は國教として信奉せられ、他の宗教は布教を許されて居なかつた。それ故に此のドスデマーヨ病院に勤務する白人の看護婦も悉くカトリツク教の尼僧で、一般に之をマーデレ即ち母と呼んで居るが、邦人が敬愛措かざるところの前記のフランシスカ孃も實に此のマードレの一人であり、日本人室即ちサンビセンテの擔任看護婦長として今日まで既に三十有餘年の永い星霜を過ごして來たのである。

彼地に於て日本人が最も多く罹る病は風土病のマラリア、オコリ、熱帶赤痢及び肺結核等である。殊にリマ市は降雨なき爲め砂塵に滿ち、自然空氣が汚濁して居るから、住民は肺患に襲はれ易く、患者が平均四人につき一人の割合に當つて

居るさうだ。日本人の死亡率中これ等の結核患者はその七割强を占めて居るが、多年の經驗に依つて日本人の體質、慣習等を熟知して居る所のフランシスカ孃は、これ等惡疫患者に對しても些か懼るゝ所なく實に至れり盡せりの周到なる看護をして呉れる。雲山遠く一萬二千海浬を隔てる異境の地に親族知己と別れて生活する我々同胞の多くは、兎角出稼根性に囚はれ易く、命よりも金を重んずる傾きがあるから、他人の病苦を見ても振向く者が少ない位である。搗てゝ加へて言語の十分通ぜざる不自由極まる他國に於て病に襲はれたりとせんか、如何に意氣天を衝く所の大丈夫と雖も、實際人生を悲觀しつゝ心細さを感ぜずには居られるものでない。個中の消息を解せる賢きフランシスカ孃は、如何なる種類の患者に對しても露だに厭ふ姿を示さず、恰も我子の病める時の如くに愛し慰めて呉れる、そして病氣が重ければ重いだけ親切に看護して呉れる。從つて傳ふべき美談も少なくないが爰にはこれを省略する。

ドスデマーヨ病院の習慣、卽ちカトリツク敎の慣例として、若し全快の見込ない患者があるときは、患者をして必ず先づ懺悔せしめ、其後に遺言をさせる事になつて居る。それで日本人の患者が危篤に陷るとフランシスカ孃は日本人の通譯(この病院には數名の日本人が孃の德に感じて終生彼女の下に働かんとして居るが此等の人々は自ら進んで通譯の役を勤めるのである)を連れて來ていと嚴かに懺悔の式を行ふのである。それが終ると、遺言を日本文にて認めさせ、之れに入院當日からの病床日誌を書き添へて患者の鄕里へ送り屆けて呉れる。

或る時懺悔と遺言までしたが其後不思議にも快復した日本人の患者の實驗談を僕は具さに聽いた。その人の語る所に依れば『懺悔を爲さい、さうして天國にお昇り爲さい』とフランシスカ孃から言はれた時、それまで病苦と死に對する不安とで極度まで惱まされて居たその人は、この刹那、何と云ふ不思議な事であらう、マードレの姿が天女のやうに見えて後光が差し、言葉は嚴かではあるが、未だ曾て地上で聞いたことのない程の慈愛に溢れて、さながら天國の音樂にでも接するやうな思ひがした。今日までカトリツク敎の頹廢を批難して來た私も、この天來の音樂を耳にし、慈愛にうるんだ彼女の

眼を見た時には、最早何等の抵抗心も起らず、而も更に何等の惱みも無くなり、唯感激の念に充ちて、問はるゝが儘に今日までの自已の行爲、思考等を殘らず打明けて懺悔したとの事である。其後彼は熱心なるカトリック信者となり、更に進んでカトリック僧侶の內部にまで入つて、由來墮落し切つて居る同教の改善を行はうと努めて居る。彼女が日本人に對する態度並びに情操は、斯く信仰そのもの〻如く、慈愛そのもの〻如くであるから、一日でも此の日本人室へ入院した患者は、老幼男女の別なく之れに感激せぬ者のないのは決して不思議でない。

カトリック教は實際古い宗教である。そして總ての既成宗教がその布教師によつて殆ど腐敗して居るやうにカトリック教もまた非常に紊れて居る。尼僧の大部分は私生兒製造者たるやの觀があり甚だしきに至つては賣春婦にも劣つた者さへある。この中に在つてフランシスカ孃は宛も泥中に匂ふ白蓮の如き淸らかな光を放つて居る。世人の多くは彼女が我々同胞を眞心から愛して吳れるのを專ら彼女の宗教的信念から出た篤行と思ふかも知れないが、不思議な事には彼女は他の多くの外國人は勿論ペルー人に對してさへも日本人に對する程それ程深切ではないのである。それは果して何故であらうか何人と雖も奇異の感に擊たれざるを得ないであらうと思ふ。

彼女とても一個の人間である、神ではない、隨つて東洋人を排斥する西洋人共通の念が彼女の何處かに少しは潛んで居るかも知れない。神の使ひの尼僧として、將たまた看護婦としての尊い信念を以て患者に接するだけであるならば、敢て國籍の如何を問はず、何れの國人に對してもその態度が同一でなければならぬ筈である。特に日本人に對してのみより以上の誠意を濺ぐ必要はない。而も事實日本人殊にその病めるものに對しては他國人に對する以上、則ち職務上から起る眞心以上の眞心を寄せて、親切に丁重に彼女が之を愛護するのは何故であらう乎。其處には一個の人間として何等かの理由がなければなるまい。さうだ、フランシスカ孃と日本人、その間には實に魔訶不思議な因緣が取り結ばれて居る。彼女には聞くも哀れなそして珍らしい運命に弄ばされた前半生があるのだ。

彼女は本年五十七歳の老女で兩親は佛蘭西人である。父は寶石商であつたが彼女が生れて間もなく東洋に志して支那の廣東へ店を開いた。始めは商賣が順調に行つて、少なからぬ利益を擧げ、家庭には春の海のやうな平和が齎らされたのであつた。而も運命の神の惡戯は何時までも此の一家の平和を續けさせ樣とはしなかつた。父が不圖した疾に罹つて業務に携はることの出來なくなつたのが原因で、さしも手廣く營んでゐた店も次第に衰へ、それを氣にやみ心を焦せる爲めか父の病勢は日に月に重くなり、搗てゝ加へてその後母も病魔に襲はれ、程なく彼の世の人となつて了つた。而も降る不幸はそれだけではなかつた。愛妻の死と家業の不振とは遂にその父をも奪つて不歸の客として了つた。後へ只一人遺つたフランシスカ孃はその時まだ十歳を出ない少女であつたのである。

遠い他國の空で兩親を喪ひ且賴るべき親戚知己のない彼女は如何に悲しく心細かつたであらう。而も營利に鋭い支那人はこの弱味につけ込んで、僅かばかりの同家の遺產を橫領した上、彼女の身體をまで虐待しようと試みたのである。然るに此時この憐れな少女を死地より救ひ上げたのはカトリック敎の布敎師である日本人であつた。彼は直ちに彼女を我家に引取つて養育し我子の如く愛し慰めたのであつた。彼女はさながら地獄で佛に救はれた思ひで、その後數年間は眞實の親ならぬ他國の親の手に抱かれて樂しい幸福な日を送つたのであるが、併しこの幸福な日もまた長くは續かなかつた。彼女が十五六歳のとき何よりの杖柱と賴める日本の布敎師は病の爲めに斃れたのである。彼女は何處までも薄倖な女、涙の女であつた。斯くて布敎師の遺言に依つて彼女は布敎師の友人の手を經て羅馬の敎會へ送られたのであつた。過ぎ去つた多くの慘苦を思ひ、更に來るべき身の上の事を考へると、小さい彼女の胸は限りなき悲しみと不安とに戰くのみであつた。そして人生のはかなさをしみ〴〵味つた彼女は、まだうら若い帶の女の身を以て人生の春を思ひ諦め、靜かな安らかな生を送らうと決心し、竟に洗禮を受けてカトリック敎の尼僧となつたのである。

その後數年間を彼女は尼僧としての敎養に費し、修業後許されて南米ペルーへ渡つたのは二十歳前後の頃であつた。そ

の後更にドスデマーヨ病院の看護婦となり、多くの患者を介抱することゝなつたが、之が抑も彼女が日本人と縁を結ぶに至つた連鎖である。日本人の患者に對する時、彼の女の胸には過ぎ去つた支那時代の出來事がまざ〳〵と浮んで來、そして『自身が今日ある事も、斯る生活を爲してゐる事も、皆彼の時に自分を救つて吳れた日本の布教師の惠みである、然し恩人に恩を報ひんとしても今は既に亡き人と爲つた、この上はせめて異鄕の空に病む不幸な日本人の爲めに盡さう、それが亡き我が恩人に對して報ゆる唯一つの道であらう、妾は日本の患者を助けねばならぬ、眞心を罩めて看護しなければならぬ、それが自分の義務である』と彼女は此の時から深く思ひ定めたのであつた。

マードレ、フランシスカ孃がペルー在留の日本人に對して特に友情を濺ぐ不思議な事實の起つた動機は之れで讀者に會得されたであらう。それにしても渺たる一婦人の爲せる善行が、かくまで强い衝動を社會に與へ、それが大きな結果となつて現はれるとは、同情の力の如何に貴いものであるかを示す適例であらうと思はれる。尙ほ最後に一つ書き添へて置かねばならぬ事は、フランシスカ孃はさうした理由又は立場から日本人を愛護して吳れるのであるが、實際その恩惠を受けた日本人たちは彼女の篤志に對して感激しない譯には行かない。この感激の情は彼女に對する報恩の擧となり、ペルー在留日本人會は全員一致の贊成を得て大正十一年彼地の名畫家に依賴して孃の肖像二枚を描かしめ、その一枚をば彼女に贈り、他の一枚をば日本人會館の正面へ掲げて『日本人の母』としてのフランシスカ孃を永久に記念し表彰すると同時に、彼女に對する報恩の意味を以て彼女の勤務するドスデマーヨ病院へ每年五千圓乃至一萬圓の寄附を爲すことを決議し、爾來この事が實行されつゝある事である。余も曾て同病院に彼女の手厚き看護を受けた日本人の一人として爰に遙かに『日本人の母』マードレ、フランシスカ孃の幸福を祈りつゝ筆を擱く。

× × × × × × × × ×

歐米の社會事業を視て（七）

關東廳事務官　藤田俱治郎

第十八、大規模の社會研究所

ニューヨーク市の第二十二町東一三〇にラッセル、セイジ、フアオンデイションといふ大規模の社會事業研究所がある苟も日本から社會事業を視察研究に行く人で之を訪問しない人はあるまい。余もまた先輩諸氏の紹介に依つて之を訪問した一人である。余は一日前滿鐵審査役牧野虎次郎氏の紹介狀を持つて所長グレス氏を訪ねた。生憎同氏は不在であつたが取次の婦人はグレスさんは『今御不在ですがハート博士にお會ひになりませぬか』と親切に言はるゝまゝにハ博士に會つた六十歳前後に見らるゝ溫乎たる老紳士であるが一見舊知の感がした。ハ博士は全く隔てなく何くれと親切に語らるゝ、そして日本の知名の氏、殊に社會事業家は大抵知つて居らるゝ。前內務省囑託の生江さんや家庭學校長の留岡さんの話をしたら『よく存じて居ます、生江さんは相變らずお盛んですか』と尋ねられた。それから『昨日留岡さんからこんなものが來ました』と云つて出されるものを見ると大型の家庭學校の寫眞帖であつた。ハ博士は家庭學校が斯樣に盛んに經營が出來ることは誠に喜ばしいと吾事の如く喜んで居られた。それから余の請に依つて各方面の人に紹介狀を書いて呉れたり、同研究所の講義部とか圖書館等を利用することについて心地よく種々の便宜を與へられた。如何して初對面の余（外國人たる）に斯やうにも親切にして下さるのかと不思議に思はれてならなかつた。之れにつけても從來本所に出入し又は同博士等と交際して居る日本の先輩諸氏の餘德を偲ばない譯には行かなかつた。余もまた先輩の餘德に浴した一人であつて、これ

を思ふにつけても、先輩の餘德を汚してはならぬと強く感じたことである。

一、八博士の說明に依れば、本所の使命は社會事業の根本的研究を主とするのであつて、この研究所は斯業に關係ある實際家や爲政者に對する最高の顧問機關である。例へば政府で何か社會事業に關する法規を出さうとする時には草案を本所に送つて批評を請ふ。斯うした諮問があると、本所はそれ〲部署を定めてその利害得失を研究する、さうしてその結果を返事する、當局は之を參考として實行案を作るといふ順序である。

二、各所の大學生は絕えず本所に數十名集まつて研究して居る。或は圖書館を利用し、或は講師の講義を聽き、或は本所で研究の傍ら自ら社會事相の實地研究に出かけて實地と學理と兩方面を研究して居る。余が視察に行つた當時も數人の大學生が居つて何れも實地研究に出かけて居るといふことであつた。日本からは社會事業で有名な原胤昭氏の令息泰一君が研究に來て居られた。同君は近く本所を引上げてニューヘブンに在るエール大學に入學すると語つて居られたが今は歸朝して東京における中央社會事業協會に働いて居らるゝ。

三、原君の御盡力で社會事業講義部の方の講義と討論會の光景を見ることが出來た。講義の方では折柄某大學から專門の博士が來て精神病者と智能的疾患との關係と云つたやうな題で講義した。聽講者の多くは大學の社會事業を專攻する青年男女や若くは社會事業の實際家であつた。精神病者は環境に對して特に敏感であるとか、精神病と骨相學との關係とか精神病者と道德觀とか、精神病者と性的行爲とか、斯うした面白さうな題目ばかり講義して居られた。さるにても斯る設備を有するニューヨーク市民の幸福を羨しく思はざるを得なかつた。

四、立派な圖書館がある。社會事業に關する圖書數萬部を蒐めてある。余が訪ねたのは恰度大正十二年(一九二三)一月三日の正午頃であつた。廣い閱覽室に數人の婦人が入つて書を繙いて居るのみであつた。面白さうな書物二、三冊を自ら取出して係りの婦人に閱覽を請ふと、靜に心地よく首肯いた。勿體ないやうな室だなと思ひながらページを繰ると心地よ

い言葉ばかり目に入る。曰く『市民としての基本的義務は公事に對する自分一個の責任感換言すれば市の公事に就いて考へないでは居られぬ働かないでは居られぬと云ふやうな責任感を高めて行くことである』。曰く『善良な巡査は品性の正しい勇氣に富んだ而も親切心の強い人が長い而も熱心な訓練を經て始めて出來るのである』。

五、討論會の光景も參觀した。概略は前に述べたやうに思ふから茲には省く。

本所はラツセル、セイジといふ私人の何百弗かの寄附金で出來たもので、隨つて今はその利子を以て事業が運轉されて居る譯である。記念の爲めに寄附者の名を冠してラツセル、セイジ、フアオンデイションと呼んで居るのだといふ。日本でもこの種の研究機關が近頃漸く出來かけたやうである。大連にも社會事業研究會があり機關雜誌も出て居るが成るべく實際的に權威あるものたらしめたい。例へば今後新しい社會事業を始めるとか既存のものを改善しやうとか云ふ場合にはこの會に相談すれば相當權威ある智慧を借り得るといふまでに進めたいものである。

第十九、ベルリンの職業紹介事業

(一)ベルリン市の職業紹介事業は一八八三年に勞働組合が創めたのが起りで一九一七年に至つて市の經營に移したものである。(二)勞働者を熟練勞働者と不熟練勞働者とに分ち不熟練勞働者に對しては市內各區に一の事務所を設けて紹介事業を行つて居る。(三)特徵のあるのは熟練勞働者に對するもので、これは各勞働團體毎に一の事務所を有して居り、その數市內に二十七ある。一事務所の組織は議長一名(市吏員)、委員六名(三名は資本家側三名は勞働者側)で、委員はすべて名譽職であるが、各事務所にはこの外に適當數の事務員の居る。これも兩側から等數に出す。

(四)經費は市と勞働者と資本家との分擔である。(五)この事務所で世話して貰へる者は勞働保險に加入して居るものに限る。職なくして事務所に來た場合に、直ちに適當の職なくとも三日間は補助せず、第四日目から補助する。(六)補助の

方法は隔日にこの事務所に來て無職のスタムプを押して貰ふ。一週間毎に補助金を受取る。全年を通じて二十六週間だけ補助する。視察の當時は一日一人の補助は二、四〇〇マルク(二十四錢)本人、〇、八〇〇マルク(八錢)妻、〇、四〇〇マルク(四錢)子供で、子供四人までは一人毎に增加するがそれ以上は增加せず。(七)紹介の成績としては毎日平均求職者の二十パーセント乃至二十五パーセントは就職し得るとのことであつた。視察當時(一九二三年四月二十八日)一週間の成績を見れば求職者六七〇、要人者三六〇、就職者二七〇であつた。

上海事件の眞相に觸れて

衆議院議員　神田正雄

今回更に支那の各地を巡視し、上海に於ける同盟罷業事件の眞相にも觸れたから、こゝにその一端を述べやう。同盟罷業せる上海の勞働團體は四十有餘あるなどの說あるも、實は二つの團體が左右して居るのであつて、その一は聯合工會、他の一は工人會といひ、前者は勞働組合の下に勞働者の向上を計らうと云ふのであるが、後者は過激と云つては語弊があるかも知れないが思想上に目醒めた勞働團體である。この思想上に目醒めた社會主義的分子の多い工人會が常に勞働者の裏面に在つて熾んに暗中飛躍を目論みつゝあつたのである。今回の上海事件はさうした勞働者と思想的に目醒めた者とによつて行はれたのであるが、こゝに我々日本人の考ふべき一事は、その罷業團體の中に資本家も混つてゐた事である。罷業團の中に資本家が混つてゐたと云ふことは、支那側の資本家がその背景であつたといふ意味で、これが外人工場に對す

る同盟罷業を決行せしめた大なる原因になつて居たのである。支那側の資本家は罷業當時その罷業勞働者に對し一日平均二十錢宛を給與してゐた模樣である。ストライキをやつて、遊んでゐて、それで一日二十錢を給され、さうして要求條件たる賃銀增額が叶へれば、こんな旨いことはないので、さうした間の空氣謂ふところの民衆心理を捕へた工人會の若き鬪士等は、得たり賢しとばかり煽動した結果、遂に彼のやうな大事になつたのである。

民衆心理といふものは殊に雷同性を帶びた支那人には恐ろしい結果を齎らすものだ。特に民國人と云ひたい。民國人は實に頭が鋭いのであつて、一九二三年香港における一ヶ年半に亘る同盟罷業騷ぎの當時、彼等は二割乃至三割の賃銀增額を贏ち得た味を占めてゐるので、その過去の經驗が手傳つて這たびの罷業が一層强く行はれたのである。それと今一つは歐洲大戰前に二萬、三萬と戰地に行つてゐた支那の勞働者が、戰後御用濟みと共に歸國し、而して夫れ等幾萬といふ數多い勞働者の中には鈍感な者ばかりでなく、頭腦明晰な者もあつて、これ等が外國において視察した勞働者の實情に照らし支那の勞者働が國際的に痛切な壓迫をうけてゐるのを自覺し、何とか自國における勞働者の地位向上を計らねばならぬと常に考えてゐる事である。支那の勞働者には斯うした頭の進んだものもある爲め、この自覺した勞働者によりて、或は勞働問題の硏究となり、或は團體の組織となつて、勞働者の地位向上を圖らうとするので、今回のやうな事件が突發すれば猶さら今迄の內的熱氣が燎原の火となつて燃え上るのは當然の勢ひである。

私は勞働爭議執行委員の人たちと二三回折衝した。彼等の言を聽けば、それは眞實の溢れるやうな誠の言葉で、日本の資本家と提携すれば解決が出來る、どうしても日本の資本家に縋り付くより外に途がない、貴下にその調停の勞をとつて貰ひたいと云ふのであつた。そこで私は、調停の勞はとるが、その條件はいかにと質したら、翌日になつて持つて來たのが十三ヶ條の要求條件であつた。其の內の十ヶ條は組合を認めよとかいふ普通の勞働問題に有觸れた要求條件であつたが[illegible]難關で、その一は殺人問題に對する賠償金二萬圓、その二は現在勞働[illegible]の十分の一を上げること、その三

は十二時間勞働を短縮せよといふのであつた。この十三ケ條の要求書を私の前に提示した彼等執行委員は、一段と聲を低うして、右の要求條項のうち賠償金二萬圓は半額でもよろしい、賃銀値上も吾々の顏の立つ程度においてほんの少額の値上が叶へればよろしい、猶ほ思想上の集團である工人會を認めよと云ふのがあるが、それは工人倶樂部としてもよろしい、如何なる方法を以てしても取締る考えであるから、單に形を認めて呉れゝば可いと語るのであつた。此くの如く彼等は碎けてゐた。その爭議の內面が如何に窮極に陷つてゐたかゞそれで推察出來る。殊に此の罷業騷ぎに依つて一ばん迷惑を蒙つたのは罷業勞働者の家族である。群衆心理に雷同して一時的に灼熱するときは、萬事を排して突進するも、さて幾日か過ぎて幾らか熱が冷めて來ると、そこには一日二十錢で慘めなその日暮らしをしてゐる家族が横はつてゐるのを發見する。一日二十錢宛を給與して罷業を持續せしめてゐる支那の資本家も、この罷業騷ぎによつて支那に於ける全外國人の事業を驅逐して仕舞ふことが出來るか何うか、そこに大なる懸念と疑ひを抱くと共に、二十錢宛にもせよそれを勞働者に貢ぐことは寧ろ自個破滅の基になりはせぬだらうか、さうした憂目に立至らざるを得ない處がある、といふ考えを持つてゐた。罷業の表面はいざ知らず其の裏面には斯樣な復雜な問題が潜んでゐたのである。

それで私は右の要求條件書を提げて日本側の資本家會議に出席した。賠償金問題も、賃銀値上問題も、私の居るまでは纏まらなかつたが、日本人側の資本家と折衝した時、工人會問題に關する一條によつて、いかに支那における我が資本家が時代錯誤の頭を有つて支那に對してゐるかに一驚せざるを得なかつた。工人會は要するに思想的團體であつて、單に之れを倶樂部といふ名義にても可いから認めて呉れとの要求であるのに、日本側の資本家や事業主は全然それを認めないと言ふのである。思想は扉を以て防ぐことは出來ない。思想的團體の單に形のみでも認めないといふ事業家は、然らば、それ等團體の芽生えを根絕し得るであらうか。何れの國にも世界大戰爭後の文明の潮流が刻々として押寄せてゐる時において、獨り支那のみ停頓の時代に在るであらうか。若し支那もまた時代の潮流に棹さしつゝあるものと觀るならば、そこに

は當然思想的變化が來なければならぬわけで、思想團體が起るのは當り前の事ではない乎。工場の衛生的施設などを誇る我國の資本家なり事業主なりに對し、私は先づ民國と時勢との關係を知れ、知つて然る後支那に對せよと言ひたいのである。私は更に尋ねた、支那語を解し得る人があるや否やと、それは日本の資本家側の人々の中に滿足に支那語を操り得る人がなかつたからだ。支那の土地において事業を營む人たちが支那語を解せないといふは何といふ不用意なことであらう。一體日本人は無愛想な國民である、汽車旅行の際など、五六時間も向ひ合つてゐて、碌に言葉も交はさない國民である。さうした無愛想の上に土地の言葉を知らないのだから、支那人との間に意思及び感情の疎通が出來ないで、默つて拳骨を振廻したりする結果、遂に今回のやうな罷業騷ぎが起つたのである。

私は最後に今回の上海事件の原因を參考までに申述べて見たい。それは大體四ツに分けられる。卽ちその一は經濟上の問題、その二は思想上の問題、その三は政治上の問題、その四は國際上の問題で、今一ツ外國人乃至外交團の不一致といふことを擧げたい。經濟上の問題は悲慘の極みで、四川省の如きは勞働者が一日三錢で生活し、人口增加に對しては殺人的制限を行つてゐる程の有樣である。各國との交際と敎育の進步とは支那人の智識慾を增進せしめ、社會主義、無政府主義の書物も多く讀まれて居るから、そこに思想上の變化を見るのは當然である。支那の政治は相變らず國民と何等の交涉なく、民衆の實際生活に少しも觸れて居らぬため、政治に對する反感からも民衆運動が起るのは勢ひの已むを得ない所である。原因に國際上の問題を數えたのは、支那の國家と支那の民族が劣等視され、人種的差別待遇を受け、種々の壓迫と凌辱を受けたのであるから、それが反帝國主義となり、排外運動となり、勞働運動までも遂に排外運動となつてしまつたのである。從來は各國が丁度漬物を重石で押え付ける樣にして居たのであるが、歐洲戰爭後、世界の形勢が一變し、外國人乃至外交團の支那に對する步調が一致せぬやうになつたので、この虛隙に乘じて上海事件の如き騷ぎが起り、それが擴大して排外運動となつたのだ。支那において事業を營まうといふ資本家なり事業家なりは世界の形勢と時代の變化と支那における時局の變遷に注意し、萬遺憾なきを期せねばならぬ。（文責在筆者、白木生）

震災の回顧と原始的生活

震災の回顧と原始的生活

文學博士　遠藤隆吉

人は天然に接近したる生活を營むことに依りて、其の心氣を純眞にし、其の精神を剛健にし、而して其の生活は洵に生き甲斐ある生活となるのである。男兒にして虛飾を好み華美を愛するは、皆天然より遠ざかれる生活を爲すからであつて斯くの如きは他人の力に依りてのみ生活し、之を藉らざれば寸時も生活すること能はざるものである。震災前の東京においては、交通便利に街衢殷賑なる銀座街頭の三角樓に住居し、電燈の明赫々に慣れ、身に綺羅を纏ひ、足に白足袋を穿ち出るには電車又は自動車があり、殆んど何等の肉體的努力を費すことなく、食は灘萬にあらざれば甘からず、竹葉にあらざれば口にするに足らないなど、衣食住の物質的豐美に浸り、またそれを誇りげに示し、随つて天然と遠ざかつた生活をなす者が多かつたが、此くの如き者には決して根本的勇氣ある者なく、其の神氣は濁り、其の精神は汚れてゐる。歐米風を模倣した都市大連にも恐らく斯うした風の人が多いだらうと思ふ。

我等の見る所を以てすれば、人間の生活は成るべく原始的ならんことを要し、また原始的なるべく努むべきであると信ずる。男子は如何なる處に往いて生活せぬとも限らぬ、又如何なる境遇に陷らないとも限らない、日本の版圖内に生活するばかりが能ではない、人間至るところ青山あり、骨を埋むる豈必ずしも故郷の地のみならんや、滿蒙にまれ、南洋にまれ、アフリカにまれ、ブラジルにまれ、茫漠として無限の原野は恰も剛健勇敢の士を歡迎するかの如くに展開されて居る。女子も今日は本國の小天地にのみ跼蹐し居るべき時でない。若し數十百里の廣きに渉つて天然力の富んだ原始的未開地に移住し、天然を背景として之を開拓し利導したらんには、其の快實に言ふ可らざるものがあるに違ひない。男兒の面

目豈之れに若くものあらんやだ。而も此くの如き事業を計畫せんには如何なる困難に遭遇するやも測られない。數十日の間米鹹を口にする能はざる事もあるべく、淸泉を喫する能はざる事もあるべく、猛獸に遇ふこともあるべく、毒虫に刺さるゝ事もあるだらう。啻にそれのみならず粗末なる假小屋にも起臥せなければならない。其の假小屋もまた自分自身の手にて作らなければならぬ。樹を伐り、枝を撃ち、皮を剝ぎ、地を掘つて埋め、繩を結び、屋根を葺き、床を作つて濕を避け、土を塗つて風を防ぐ、一として己が手に依らざるはない。恰もロビンソンクルソーが無人島に往つたやうな感があらう。併し此くの如くにして人は始めて純潔となり、剛健となり、そして浮雲にあらざる眞の富を作り得るのだ。彼の始めてアメリカの新天地に移住した勇士は皆この種の人々であつた。

原始的生活――予は天然に接近せる生活を示すに此の語を以てする――の殊に男兒に必要なるは火を睹るよりも明かだ。然るに斯かる話を聞ける今日の靑年子弟の中には笑つて冗談となす者あり、而して彼等は曰ふ、吾等は日本の內に棲息し、父母あり、妻子あり、團欒して以て樂しむべく、友あり、來りて烏鷺を闘はす、亦以て快となすに足る、出づれば公園あり、會堂あり、入れば家庭あり、友人あり、時あつて車馬を驅り自動車を飛ばす、淸流の上、高樓の外、吟咏諷唱し、或は雄辯を會場に振ひ、或は歌舞を樂壇に聽く、文明の恵澤を享くる正に此に在り、何を好んで不毛未開の地に入らんや、我等は日本々土の內に於て終身安靜に其の日を送ることが能きる、何を好んで原始的生活を爲さんや、大正の今日分業の發達したる現代において、原始的生活をなさんなど考ふるは、單にこれ野人奇を好むの思想に外ならないと。嗚呼彼等は文明に醉ひ太平樂を謳ひつゝあるところの濟度し難き無緣の衆生である。

昨秋一府六縣の關東地方に起つた震災は開闢以來未曾有の慘事であつて、東京、横濱の商工業地は殆んど全滅し、交通機關は杜絶し、一時全く文明的生活をなす能はざるに至つた。醉へるもの、謳へるもの、謂ゆる太平樂に浸つて居たものは、其の日から食ふに食なく、飮むに水なく、饑餓倦怠交々至り、二三日を經て僅かに玄米の團飯一箇を口にすることが

出來たのであつた。當時市中に現はれたものは饂飩粉を練りそれを葱と共に醬油の汁にした所謂すゐとんと茹小豆とであつた。之が市中に於ける殆んど唯一の食物と言つても可かつたのである。之を原始的と言はずして將た何とか言はんやだ。その後十數日を經過しても市中には電燈の影なく、茫々たる焦土は闇夜の陰影を以て蔽はれ、野犬の叫び人をして凄愴の感を起さしめ、東方より舞ひ上れる團々たる一輪の月は、恰も三百年前の武藏野に遊ぶが如き感を起さしめた。狐狸の出沒、豺狼の跋扈などといふことは單なる形容ではなく之を事實に見るが如き感がした。

此の慘たる焦土の間に於て、行人飲食の便を圖らんとする者は行燈を吊し、筆にて饂飩と書し、中には蠟燭を點じ、雨戸を醬油樽に載せて腰掛となし、客を呼んで渴を癒やさせる者もあつた。之を原始的生活と言はずして將た何とか言はんやだ。況して東京市中の灰燼は堆積して容易に片付くべくもなかつた。安政二年の震災以來次第々々に蓄積せられた東京の建築は、煉瓦にせよ、瓦にせよ、土にせよ、其の分量の莫大なる、一朝一夕にして片付け得べきものではなかつた。或る處までは各戶自ら手を下さねばならなかつた。一點の塵を受けない白足袋を穿ける町人、曾て土を踏みしことなき優男鍬鋤の類を眼にせしことなき江戶子も、勢ひ自ら眞黑になつて働かねばならなかつた。之を原始的生活と言はずして將た何とか言はんやだ。殊に此の震災の結果として貧富の懸隔が特別なる情態となつて來た。卽ちこれ迄は數百戶の家を有し百萬長者として月々數千圓の收入ありしものも僅に二三十分の間に凡てを烏有に歸せしめ、家賃は取れず、剩さへ敷金の督促に遇ふて、その行方を晦ます者さへあつた。諸官衙に出入して手廣く商業してゐた者も一朝にして裏屋住ひの哀れを感ずるに至つた。數十百臺の機械を擁し人語を辨ぜざる轟きの中に盛んに活動しつゝあつた所の工場も憐れ殘骸を留むるに過ぎなかつた。昨日の榮華は今日の夢となつた。之に反して昨日まで人の家に雇はれ僅かな賃錢を得て其日を送つてゐた者で、俄かに富を致せるがあり、債鬼に攻め立てられて居たもので一朝にして數十萬の富を累ねたのもある。卽ち從來の貧富の區別が悉く顚覆して了つて新たなる區別が設けられたのだ。之を原始的生活と言はずして將た何とか言はんや

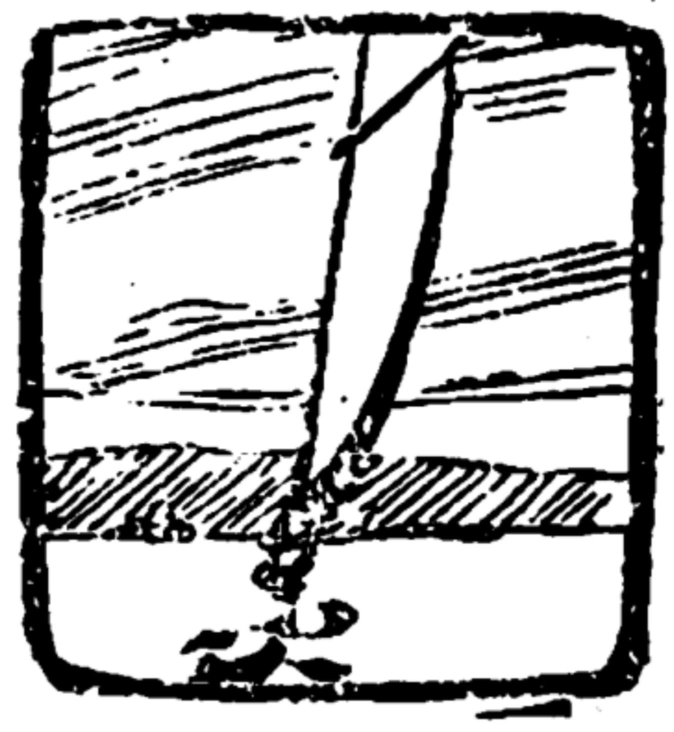
だ。されば我等は常に原始的生活に安んずるの覺悟がなければならぬ。假令日本の中に於て生活するにせよ必ず此の覺悟がなくてはならない。人又或は言はん、昨秋の震災は千百年稀れに見るの災害であるから、之を問題として原始的生活を唱ふるの必要がないと。然れどもこれ又思はざるの甚しきものである。假に今後は一昨秋の如き震災はないとしても時として何等かの思ひ設けぬ困難に遭遇せぬものはない。巨萬の富も一朝にして喪失することがある。斯うした場合、原始的生活の覺悟がなかつたならば、身を江海に投ずるの外なきに至るであらう。況んや一昨秋の如き地震も果して百年に一度か、二百年に一度か、何人も豫言すること能はざるにおいてをやだ。

人は誰でも虚飾を排し、質朴に就き、粗衣粗食に甘んじ、天然に接近し、粗野なる生活をなし得るの體質と適應力とがなければならない。予の觀る所に據れば人間は天地の子である。天地に接近すればするだけ身體は健全になり、獨創的なる思想も湧いて來、精神は常に純眞であり剛健であり得る。樹木を植ゑて來年のことを考へ、穀物を播いて秋收を待つなど、何れも思想の湧いて來る原因になり、又他人の力を藉らずに生活し得る自信を生ずることにもなる。されば能きる限り天然に接近した生活を營むべきである。土地と言ひ、樹木と言ひ、人間生活に取つて無くてならぬものである。殊に震災後樹木の必要は一層適切に感ぜらるゝに至つた。茫漠たる焦土の中にバラツクを建築して生活するときは、酸素の不十分なるが爲め呼吸器を害すること夥しいさうで、随つて何等か綠色を帶びた物を見たい、草木に接したいと云ふ感情が起る。是れ人間自然の感情である。この感情より生ずる要求の滿足が即ち健康を維持する所以である。家を建てるにしても自分自身に土臺を築かなければならない。出來ることなら自分自身にその上に家屋を作らなければならない。斯くすることに依つて我等は土臺なる石の如何なるものであるかを知り、又材木の如何なるものであるかを知ることが出來るのみならず、身體の各部を働かせて圓滿なる發達を期することも出來るのである。但し此に原始的生活と言ふは決して野蠻な生活を指すのではない。それは最も天然に接近した最も簡單なる生活を言ふのである。

久布白女史講演會

社會事業研究會の主催にて

前日の炎天とは打つて變つて八月三日は珍らしくも雨日和になつた。久しく雨に惠まれなかつたので、農作物は枯死せんとし、農民旱天に泣くといつた有樣に、『よい雨である』とは思ひながらも、わが滿洲社會事業研究會では此の日、午後七時より大連商業學校講堂に於て婦人矯風會幹事久布白落實女史の講演會を催すことになつてゐたので、空模樣が氣遣はれてならなかつた。處が天祐といふか、何といふか、午後六時頃になると夕陽の光さへチラついて雨は一時止んだ。それで開會時刻には熱心な來聽者で講堂の半以上は充たされた。先づ幹事長山川武吉氏は開會の挨拶として、新社會としての植民地に於ける社會事業の必要なる事、經濟的に文化的に進む外、更に社會的に進まなければ一種の植民地たることの滿洲に新社會を築くことは出來ないと、種々なる事例を引いて之れを論述した。斯くて久布白落實女史は地味な洋裝姿で演壇に現はれ、『國民外交と婦人』の演題で一時間餘に涉り講演した。講演は追つて掲載するであらうが、婦人と平和の關係を述べた場合に、歐洲大戰の最中、彼の激烈な戰線を脫して獨逸の婦人が二十八名も萬國平和會議に列席したことを說き、日本の婦人たちは何時になつたら、何時の時代が來たら、此のやうな勇敢さを以て我國を背負つて雄々しく活動するであらう乎、と叫んだ。婦人矯風會の事業は故矢島刀自の後を繼いで更に積極的に活動するさうだ。大連市にも幾多の婦人團體があつて相當の理想の下に進みつゝあることを信じて疑はないそれ等婦人團體の一つ／＼が社會奉仕をするといふことになれば、それは慥かに美しいことであつて、滿洲のために眞に幸ひなことであらうと思ふ。社會奉仕は一時的の事ではならぬ、それが恒久不斷の活動となつて、いよ／＼效果を增すのであるから、愛に富んだ婦人の社會奉仕的活動は寔に願はしい事であらねばならぬ。久布白女史の云ふ國を背負つて雄々しく起つ婦人、社會奉仕に熱力を持つた婦人さうした婦人が大連婦人團の中から出たならば、その婦人は社會的には女丈夫であり、家庭的には母性愛に富んだ賢婦人であるに相違ない。希くば滿洲にもこの種の婦人出でよ。午後九時半講演會は散會した。いつの間にか街道はまた雨になつてゐた。（八月四日、白木記）



少年團の訓練方針

日本少年團聯盟研究會委員　奥村幸三郎

私は襲に少年團に關係するに至つた動機と私の少年團に關する抱負について其の一端を述べたが、今度は現在私の主宰して居るボーイ・スカウトに課して居るところの科目に就いて少しく述べて見やう。その大體は德育、知育、體育の三育に基いて實施して居る。

（一）德育　德育は機に觸れ事に臨み、教育勅語、民風の作興、詔書の御趣意を布衍してその講話をなし、且併せて之を實行せしむるやう努めて居る。

（A）野外にて少年が無意味に草や木を團杖にて打薙ぎ折損する場合、或は家畜家禽を追ひ廻す場合には、『博愛及衆』の一項を説明して戒めて居る。

（B）電燈、電力、煽風器、水道、瓦斯などを不必要のときに費ひ放すのを見れば、節約の必要と天然物の濫用の不可を説いて大いに注意してゐる。

（C）自分の事は自分にせよといふ自治のことは、單に訓言のみに止めず、郊外における作業や晝飯後の食器飯盒の洗淨始末や、被服の折疊み、又は竹の皮、包紙の跡始末などに依つて實行せしめて居る。

（D）日々善行を激勵し、子供は子供ながらに善行と感ずる樣に何かと善きことを勸めて居る。

（E）總て幹部より命令して實施せる社會奉仕的の事は強制して居ない。何か暗示を與へて少年自身の發意により共同的の奉仕作業を始めるやうに仕向けて居る。去年の震災記念日に防火宣傳として附近の各戸へ軒別に『火の用心第一』の貼札を配付したが、之れなどは即ち其の一例であつて、總て少年の發意にて引札の意匠、その配付の方法等に至るまで之れを一任してある。

（F）少年を命令的に奉仕的作業に連れ行くことは全く

無意味にて、本人の自覺なき作業は却つて弊があるとの意見を有つてゐるので、之を避けてゐるのだが、同時に劃一的、注入的、記憶的のことも亦之を避け、啓發的、創造的、自己發達的にて實行の伴ふやうにして居る。

（二）體育　體育は兵式體操、散兵教練、遠足、水泳、遊戯など行つて居る。之は嚴格にさうして規律的にといふ意味でして居るのではない。興味の裡に自然とそれが體育になり、規律にもなり、また迅速機敏に協同一致の行動を採り得るやうに仕向けて居る。

散兵を教ゆるも、そは軍隊が接敵動作としての散兵ではなく、摘草、昆虫採集、假裝遺失物模索などの目的の下に散開教練を行つて居るのであつて、この訓練のために原野叢の間を跋渉せしめたりなどして居る。

（三）知育　知育は科學的にし、尚ほ或る事物を考究するに當り熟慮斷行せしむるやうにして居る。神戸は商工都市であるから、兒童の將來をも考へて成るべく社會的常識の涵養に努め、實地に就いて見聞したるものに依り一々懇切且叮嚀に說明を與へて居る。

築港にて汽船を見せ、前檣、大檣には何種の旗章を揭ぐべきもの、社旗又は國旗は何處の竿に揭ぐべきものと語り更に萬國信號旗を簡單に說明し、船具の事や、船員の職務や、それから時鐘のことなど簡單に話す。

一、測候所の旗竿に揭げたる旗印
一、鐵道に使用さるゝ標識柱の意味等
一、郵便電信の料金、小包とその包裝の作り方、それから柳行李の荷造方などを教へる

近來書店等にて買物をすると、シデ紐を十文字にかけずに、單に端かへにかける。之れは一種の流行の爲にするのではない。三角形の二邊の長さより他の一邊が短いといふ幾何の定理を應用して實施したものである。斯ういふ例を採つて少年の頭に入り易いやうに說明する。

その他科學上の知識に就いては科學知識、科學畫報などの雜誌に依り、又は無線電信の事など語り、衞生や生理學に就いては醫師よりの談話を受賣する事があり、工學、歷史、地理等も同じであり、船舶、鐵道、自動車、飛行機の事など語り、天産物等の話の最後には統計年鑑、米國オルマナツク等により調査したる數學を圖示（尺度化）して說明し、更らに科學的に且一般的に我國の列國に於ける位地なども倂せて會得せしめて居る。

之等は總て筆記せしむるに非らず、試驗を行ふ爲にもあ

らず、只だ常識涵養として單に腦裡に入れしめ置くだけで少年に對し特に記憶を强ふるのではない。その他救急法も肝要の事業であるから、それをも敎習實施せしめて居るが要するに體驗體得するやうに努めてゐる。

嚴格にする計りが少年團の能事ではない。そこで三ケ月目に一回ぐらゐ茶話會を開く。殊に都市の兒童は大人も及ばぬ程の賢さを所有して居り、手品、ハーモニカ、オルガン、蓄音機の聲色、對話など種々の隱し藝を有つて居るから、茶話會を開いてこれ等の隱し藝を演ぜしめて、和氣靄々の裡に一夜を過ごすのである。當團にては火、土の二夜に各二時間ばかり室內的學術實習をなし、猶ほ月二回ばかり休日に郊外へ出掛ける事にしてゐる。

現在訓育中の少年は尋常小學五六年以上、中學三年級の十一、二歲より十六、七歲までのものにて、約四十名程ある出席率は二十四五名より三十二三名位までで、家用あるもの學業多忙のものには團より缺席するやう勸めて居る。之等の少年は入團して既に一年半に達するが左の標準によつて逐次に考試する方針である。これは試驗するのではなく本人に於て考試通過の自信の出來るとき又は本人の申告によつて考試するのであつて、學校の試驗とは全く趣きを異にしてゐる。現に一部のものには之等條項の內の數多を通過したものがあり、或はまた一二だけしか受驗せないものもある。考試考に要する資格は

（一）勘くも一箇月間新士たりし事

（二）新士となりし以來、團長の滿足すべき言行をなし又我が仕事に勵みたる實績ある事

（三）住所、校名、氏名、並びに簡單なる用件を最も正確に又最も明瞭に發唱し得る事

（四）我が團旗の型式、揭揚法、取扱法及び敬禮を知り團歌尊重の理由を知り居る事

（五）團杖、救命綱の利用法を操作實演し、野外心得、野外標識に概略答辯し得る事

（六）片假名、數字或はモールス符號字等について、その名字の作爲法を知り、而して手旗或は單旗にて之れを正しく且明らかに現示し得る事

（七）二十五分間に千八百五十米以上步行し得る事、但し駈步幅六十五サンチを以てその標準とし、また步調百十四步を標準としての打算なること

（八）駈步五分、速步五分、駈步五分（スカウト、ペース、健兒步調）十五分にて千六百四十五米以上行進し得る事、但し駈步幅七十五サンチを以てその標準とし步調の標準は百七十步なること

（九）四軒の商店飾窓を各一分間注視したる後、その事柄を稍々滿足に記述し得る事、又は種々の小間物品などを並列し、一分間注視したる後、その內の十六品以

上を記憶して之れを答辯する事
(十)一方位を明示せられたる後、十六方位を指示し且その名稱を正確に發唱する事
(十一)晴天微風の時、戸外に於て米を洗ひ、飯盒竈を掘り、薪柴を集め、五本以內の燐寸にて火をつけ、斯くして米を炊き得る事、尙ほ味噌汁若くは豆腐汁を煮更にかやく飯を炊き得る事
(十二)洋服、靴下類を正しく疊み得る事
(十三)初步救急法、繃帶法、救出法を知得實施し、猶ほ急造擔架を作り得る事
(十四)小使錢の內より一箇月尠くも三十錢宛の貯金をなし居る事、但し特殊家庭の少年は除外

此の十四項は入團當初の新士(テンダフート)が次の階級の、二等健兒(セコンドクラス、スカウト)に進級のとき通過すべき關門であつて、一見困難のやうに見ゆるが、簡より繁に進み、易より難に趣く訓練法に依りて訓育し行けば五年又は六年生の少年にても案外に早く呑み込め得るもので、當團員四十餘名は昨年中に全部合格し、その結果、セコンドクラス、スカウトに進級した。

尙ほフアストクラス、スカウト(一等健兒)になるべき條項あり、その他猶ほ種々の事柄があるけれども、それ等は後日稿を改めて記載する事とし、茲には當團において實施し居る概要だけを述ぶるに求めて置く。

米國に於ける失業防止策

在東京 TY生

この頃米國において市場の安定策及び失業防止法に關し二種の政策が發表せられ一般人の注意を喚起するに至つたそれを述ぶるに先だちて一言しておきたいのは事業家及び商人だちが銀行貸出の援助により事業を擴張して行くので一般に好況時代には事業の自然膨脹竝びに投機事業の續出となつて、貸出を受けんとする者が激增するといふ事であ

る。事實銀行が貸出を行ひ民間に資本を供給しなければ市場の好況は起らない。そこで斯る好況時に異常なる事業膨脹や投機事業の續出を防ぐが爲めに銀行は貸出を差控へることが必要である。則ち市場が活氣を呈して居る時に、少しでも投機的の事業が擡頭するやうな氣配が見えたならば銀行は卽座に利子の引上を斷行し、一方には貸出を差控へ生產過剩に陷らぬやうに警戒せねばならぬ。此の貸出と生產との間に適當なる調節が行はれたならば一時的の好況も又之れに伴ふ急激な反動も起らぬ譯である。然し此の見解には多少の疑問がある。一九二三年の春、中央貯蓄金庫評議會で前述の政策を實行し、之れに關する報告が國際勞働局から出て居る。之れに依ると、米國の財界は一九一二年の春から漸次恢復の徵候を呈したが、一九二三年の春に至つて俄然變態的の好況に轉ぜんとした、而してその情況は恰も一九一九年から一九二〇年に亘つた彼の變態的好況に類似し、之がために物價は愈々騰貴し、勞働は不足し、取引所は異常なる活氣を呈したのである。

爰に於て中央貯蓄金庫評議會では此の變態的好況を堰き止めんが爲め、政府の援助を得て極力防止の方法を執つたので、變態的膨脹を堰き止め、その後市場の安定を得たのである。中央貯蓄金庫評議會の執つた政策は、再割引を四・五%に引上げたので、その結果、貸出は自然制限せられ尙ほ一方には證劵の賣出を行ひ、一九二三年六月二十日までに賣上高實に四億三千五百萬弗に上つた。然るに一九二三年末から二四年の春に掛けて一時的好況の反動が激しくなり、財界は愈々不振となり、遂に極度に達し、物價も二月には一五二であつたものが六月には一四五に下つた。此の不況に伴つて失業は愈々增加し在職率の二月には九七%のものが六月には八八%に下つた。そこで中央貯蓄金庫評議會では貸出政策を斷行し、爰には割引率を引上げて貸出制限を行つたのを、今度は反對に貸出を緩め、四月二十九日には再割引率を四・五%から四%に引下げ、尙ほ引續き六月十二日には三・五とし八月八日には三%とした。此の政策が物價の高低及び財界の振否に及ぼした影響を考へて見るに、財界が不況に陷りつゝある時には貸出政策の效力が極めて微弱で、尙ほ一層斷乎たる處置に出でないと反動を防止することが出來ないことを證明して居る。

銀行の金融政策と相俟つて政府は失業防止策として官營工事を準備して置き、財界不振で勞働過剩に陷つた場合には直ちにその工事に着手し、之に勞働力を差向けるのであ

る。此の問題は既に第一回國際勞働會議に持出せられ米國では過去二ヶ年間に亘つて充分の注意が拂はれたのである米國勞働立法協會の土木工事委員會長マレリー氏は本失業救濟策を實行するには『土木事業支出金法令の中に民間事業の不振に際しては隨時に一定の工事に着手しても差支ない』と云ふ一箇條を規定する必要があると述べて居る。また支出金は五ヶ年に亘つて流用が出來ることにすべく尚ほ全國の土木業を管理する一部門を設置する必要がある。之は曾てクーリツヂ大統領が制度改正案に於て考慮した點である。尚マレリー氏は、市町で實施する總土木工事は聯邦政府で行ふ全部よりも多額で、その額約十億弗に達し、總て公債を發行して實行して居ると言つて居る。一般財界及び勞働の安定を計る上に、此の賢明な政策即ち長期に亘る土木事業の實施に當つては、市町長は全く私心を捨て、斷乎として所信を實行せなければならぬ。則ち財界不振の際には直ちに工事に着手し、又好況に向はんとするに際しては出來得る限り公營事業を中止し、常に緩急宜しきを得なくてはならぬ。此の長期土木工事計畫が即ち一九二三年十二月勞働立法協會主催の華府會議において適當なる失業救濟及び防止策として議決された事項である。

勞働立法協會の全國會議に引續き、同會の土木工事に關係ある特別委員は聯合亞米利加機械協會の招聘により一九二四年一月九日華府に於ける全國會議へ出席した。此の會議では長期土木工事計畫に賛意を表し、若し土木業代表達が協同したならば大いに工事と勞働との調節を行ふことが出來、且この計畫によれば、政府は經費を節約して事業を進行せしむることも可能である。則ち好況時には低額の賃銀で仕事を多く實行し得るからである。本業は愈々立法制定の運びに至り、マサチユセツツ州會では『財界不況に際し、勞働の需要を增し、失業を救濟する爲め、特に州の各課では土木工事の豫定計畫を起案すべし』と云ふ議案が通過した。また一九二三年に聯邦政府は之れに依つて一大成功を收めたのであるが、それはフーバー氏が時のハーデング大統領に書を寄せて、事業の延期し得べきものは出來得る限りこれを延期すべきことを忠告した結果、新事業には成るべく着手しないことにした爲である。

斯の如くして政府は工費を節約し得ると共に、市民は人並びに材料に於て政府と競爭することを避ける利益を得た不況時に政府が事業を興す計畫は尚ほ實驗時代に屬することは言ふを俟たない。そして現在亞米利加が受けて居る此

の不景氣に際し、政府が如何なる方法で新事業を進行せしめつゝある乎、又幾多の行政上、經濟上、立法上の困難に打ち勝つゝある乎を調査することも極めて興味ある問題である。兎に角銀行の金融政策と相俟つて、政府の土木事業繰延政策によつて、勞働の需給を調節することは、財界の振否に應ずる最も賢明なる策であることは言ふを俟たない之れに依つて社會問題の一たる失業も大いに救濟することを得べく、而して此の兩政策は理論上の研究から出發して今はモハヤ實行時代に進んだ譯である。

普選を前にしての無產政黨の組織

議會における勢力は恐らく微弱ならむ

既成政黨に倦んだ我が國民の中には旱天に雲霓を待つが如き態度を以て無產政黨の出現を望んでゐるが此の期待の中心にある無產政黨が將來如何なる形態を取つて生れ出づるかを現在之が組織に努力してゐる團體に就いて調べて見るに先づ我國に於て組織勞働者の中心勢力として十四年間の生命を續けて來た勞働總同盟は昨年二月の第十三回全國大會において從來の政治に對する消極的態度を改めて積極的に出づべきことを宣言し方向轉換、議會利用の標語の叫び聲を擧げ政治部の組織を充實して勞働組合中心の政黨組織に邁進したが不幸にして本年四月以來革新派の分立となり之れがために約四萬人を擁してゐた勢力は二分され而して革新派はあらゆる革命的勢力を糾合して無產階級に依る政權奪取の道を辿るに至つた。

一方總同盟内に隱然一王國を形成してゐる鑛夫總聯合は經濟鬪爭が鑛山にあつては資本家と勞働者の力と力の露骨な對立抗爭の上に懸り組合の發展、勢力の進展のために不利なるを悟つて政治的勢力に依つて自己の解放を目論見るに至つた嘗て組合組織の宣傳の爲め莫大の犧牲を拂ひ

ながら尚且つ組織不可能であつた北九州筑豐炭坑地において鑛夫總聯合の一派が政黨の名を藉りて立派に宣傳を完了し得た事實は一層政黨の必要を痛感させ古河王國足尾において今回七名の鑛夫の議員を選出せしめた其他官業勞働總同盟、市電自治會、機械職組合の如き大組合においても政黨組織の機運が著しく促進せしめられてゐる。

以上は都市勞働者間に於ける政黨組織機運の大要であるが更に日本農民組合も政黨組織の下準備の爲め今回の町村會議員候補者に約六千の組合員を推しその結果は尚本部に全部到著してゐないが約二千人の當選者を獲得した模樣であると本部員が雀躍してゐる程で無產政黨成立の望みに一道の光明を投げたものである而して此の農民と都市勞働者の紐帶となり政黨組織の準備團體となつて活動してゐるのは政治研究會で成立滿一年を經過した今日財政の窮乏に拘らず現在約八千の會員を擁し東京府下に於ては十三支部あり秋田、長野等を初め全國に數十の支部を設けてゐる會員の大多數は都市勞働者竝に農民組合員であり年齢の點から見ると二十歳乃至卅五歳の青年が壓倒的多數を占め既成政黨の黨員が四五十年齢の中年以上の人士から成立してゐるのと對照して或る暗示を與へてゐる而してこの 政治研究會に對しては總同盟および農民組合は組合として加盟せずと宣言してゐるが組合員は次第々々に個人として加入し農民と都市勞働者とは密接な關係に置かれて居る大山郁夫、安部磯雄兩氏を始め中央委員等の會員に對する政治教育は會員の智識水準を次第に高めつゝある。

以上の如く我國に於ける無產階級内の政治關心は現在日に增し熾烈になりつゝあるが是等の勢力が議會に如何なる程度まで反映されるかに就いては當事者自身多大の疑問を有してゐる現在の吾國に於て組織勞働者の尠きことゝ選擧制度が中選擧區制を採る以上無產政黨が議會内に多數を占むることは殆ど不可能と見て差支へない程であるそれ故にか無產政黨組織の急先鋒に立つてゐる指導者等は議會を革命的勢力の結成の爲めに利用せんことを主眼にして居り議會にどれだけの代議士を送らうかは第二以下の事柄としてゐる此の傾向は政治問題講演會において『吾等は政治行動が必要であることを認めるがその爲めに階級目標を忘れる事を許すものでない』と力說する點に最も明かに現れてゐる斯くて現在では無產政黨が議會勢力として近き將來に於て大となるとは豫測されない。

雪齋翁の病臥獅子吼

芙峯生

金子雪齋翁は功利主義の信徒の多い現代には稀に見るところの高士、達人であり、また哲人である。斯ういふ人が滿洲に在るのは、慥かに滿洲の誇であり、光であり、將た大なる權威である。然るにこの人今や重き病の床に臥して再たび起つことが出來るか否かが危まれる。寔にこの上もない惜むべき事ではない乎。

八月十九日の午前中、翁を知れる人、翁と特別の親交ある人、翁の庇護を受けた人、またその人々の家族など、凡そ二百人ばかり、翁の病臥せる大陸青年團本部の一室に集まり、思ふさま涙の雨に浸つた。經國美談に書いてあるアゼンスの偉人エパミノンダスの最後の光景が思ひ出される樣であつた。この折、翁は病床に横はりながら、全く死生を超越した態度で左の文を讀み上げた。

知見界は理念、作爲思は現實、知見は現實の經驗に由りて向上し、作爲は理念の傾向に由りて知見を展開する。大自然は唯現實と無窮とを示す。之を人格化すれば、現實は作爲、無窮は生命だ。大自然に對する現實觀と無窮觀とを我が理念に收め、其の知見を作爲の上に展開しつつ無限に向ふ。これぞ人の生命である。分毫の偶然なき大宇宙の作爲を仰ぎつゝある人の知見はまた理想を以て其の生命を一貫するの外なきことを悟り得る。個人を以て言へば理想は卽ち志である。——試みに一佛教家の志(誓願)を擧ぐれば衆生無邊誓願度、煩惱無盡誓願斷、法門無量誓願學、佛道無上誓願成(無邊の生類を救濟し、無盡の煩惱を絶滅し、無量の理法を學修し、無上の佛道を體得せんことを誓ふ)と言ふのである。天地の在らん限り我が向上的努力は止めぬ。理想的人生、卽ち永遠の生命は此處に在らねばならぬ。

之れは翁が大陸青年團の機關雜誌『大陸之青年』七月號に自ら書かれた文章である。翁はこれを讀み上げると同時に

塾生の一人が捧げるコップの水でちよつと咽喉を濡した後更にその趣旨の大要を布衍して說かれた。哲人であり、達人であり、高士である雪齋翁はこの信念を堅く胸奥に藏して居るので、旣に全く死線を突破し、少しも病苦に惱まされた所がない。凡夫の企て及ぶ所に非ず。翁の病室を繞つて跪坐せる會衆は首を俛れて之を謹聽した。莊嚴の氣、一室に滿ち、咳一ツ發する者もなかつた。

吁、雪齋翁の病臥獅子吼、生死を超越した此の哲人の言何といふ莊嚴であらう。涙脆い婦人連は泣いた、男も歔欷した、が、此の莊嚴の氣に打たれては誰しも自然と襟を正さざるを得なかつたであらう。この人生の第一義諦を知得した者、翁の謂ゆる『大自然に對する現實觀と無窮觀とを我が理念に收め、共の知見を作爲の上に展開しつゝ無限に向ひ、天地の在らん限り我が向上的努力は止めぬ』といふ理想的人生觀に到達し而して之を體得した者、その人は眞に幸福であると謂はねばならぬ。

雪齋翁は昨年の秋に還曆の家族會を振東學社本塾(大陸青年團本部)において行はれた。當に六十二歲だ。常に壯健である翁は、偶々病に胃されても、醫藥を用ひた事なくその牢乎たる信念と强い意志の力とで自ら病魔を擊退した併し今度の病は遂に翁の肉體を奪ふかも知れぬ。斯くて翁の肉體は滅びても、その精神は亡びず、翁の生命は無窮であつて、永遠に世を導き、人を救ふであらう。翁の肉體は破れてもその靈魂は永へに光ると思ふ。

翁は我が滿洲社會事業研究會の會長として大なる力を藉された。併し翁の世を導き人を救ふ手は實に千手觀音的であつて、八方に擴げられ、國家の大事は勿論、社會問題にも、市井の些事にも、小我を沒した大我の上に、孟子の謂ゆる大丈夫的意氣を以て堂々と而も親切に懇篤に面倒を見られた。不義を憎む心は發して雷霆となるも、正義を愛する心は吹いて春風となり、一面は非常に氣强い人だが、他面は何處までも情深い仁だ。女子供までが『先生々々』といふて懷いたのは不思議でない。

學は東西を兼ね、識は古今を貫き、總べすを大觀してその要所を把握する。雪齋翁は實に斯うした人物である。物に譬へて言へば又と得難い珍寶である。この翁竟に不治の病に罹り、再たび起つ能はずとすれば、眞に惜むべき事であるが、その病臥獅子吼を味へば、翁の永生は疑ふべくもない。(大正十四年八月二十日記)

人間味と云ふ事

◎人間が人間味を失つては人間としての資格がないわけだが近來人間によつて人間味といふことが頻りに唱えられるのは何ういふ理由だらう◎味噌の味噌臭きは眞の味噌にあらず學者の學者臭きは眞の學者にあらずとか云つて何でも臭味のあるものは本物でないといふことだ◎して見ると人間の人間臭いのも眞の人間にあらずとなるわけで人間味といふことを人間臭味といふ意味に取ると人間らしくなくなる◎そこで人間味とは人間が眞に人間らしくなつて若し萬物の靈長であるならその通りに振舞ひ決してそれに背かぬことであらねばならぬ◎處が現代の人間の多くは物質の力に左右され人間の力よりも物質の力を尊び一握の貨幣のために己れを欺き併せて他を欺くやうな事をするので神に遠ざかると共に人間本來の人間味を失つてしまつたのだ◎この物質全盛の時代は英國の產業革命によつて作られたもので彼のメルカンチリズムは最も強くこの勢ひを煽つた原動力である◎資本主義組織の經濟と產業は斯くして打開せられ富める資本家や事業家が物質的利己心を高めて人間本來の純眞を失ひさうして人間味を失つたと同時に大多數の民衆は奴隷視され商品視されて是れまた等しく人間味を失ふやうになつたのである◎黑奴を解放し農奴を解放して更に賃銀奴隷を作つた資本主義的の產業と經濟とは人間より人間の大切な人間味を奪ひ取つた暴力である◎何事も社會的に考えねばならぬ時代となつた今日はこの資本主義の弊害を除去して資本家にも事業家にも從業員にも勞働者にも一樣におしなべて人間味を發揮せしむるやう大いに努力せねばならぬのである◎近來人間によつて人間味といふことが頻りに唱えらるゝのは斯うした事情の然らしむる所であつて之れは人間が漸く目醒めて來た故でもあらう◎人間が人間味を發揮して眞に人間らしくなれば利己主義や排他心は自ら消滅し社會は相互依存であると云ふソリダリテーの理法が分り人間の天眞と愛とが相接觸してそこに金石ならぬ天來の妙音を發するであらうと思ふ◎そこまで行くのは前途尙ほ遼遠で現代の下においては人間味の叫びに伴れて幾らかづつ人間が人間らしくなると云ふ程度のもので暫らく我慢するの外あるまい◎この人間社會に人間味が溢れる樣になれば血で血を洗ふやうな爭ひは終熄しそして平和が庶幾される◎そこにパラタイスが展開され人間は相率ひて神に近付くのだが今のところそれは空想たるに過ぎぬ。

大連と内地の不良少年

高橋月南

一、本國の不良少年少女

都市の文化が進み、人口が增殖するに從つて、不良性の少年少女が發生するのは悲むべき現象である。最近內務省社會局が各府縣に命じて日本全國の不良少年少女を調査したる處によれば、不良少年は一萬五千五百八十六人、不良少女は二千五百十三人、計一萬八千九十九人の多數に上つた。其の中の最も多數なる府縣を示せば

廣島縣	二、四五六人	東京府	一、七〇二人
大阪府	一、三六二	北海道	一、一九七
兵庫縣	一、〇八三	福岡縣	六一〇
熊本縣	五三七	山口縣	四八八
神奈川縣	四七五	京都府	四三一
長崎縣	四一一	其他	四、八四八

この調査について男女の割合を見れば、男子は八割六分二厘、女子は一割三分八厘で、右表の示す通り、その最も多いのは廣島縣、東京府、大阪府、北海道、兵庫縣等であり、其他は何れも千以下で、最も少ない地方は沖繩縣の六十六人だ。人口の多い文化の發達した都市に不良少年少女の多いことが之によつて知らるゝわけである。

又之を年齡別に見れば、八歲未滿の者は二百六人、八歲以上十歲迄は六百八十八人、十歲以上十二歲迄は二千三十九人、十二歲以上十四歲迄は三千七百八十八人、十四歲以上十六歲迄は四千三百八十六人、十六歲以上十八歲迄は最も多く、即ちその數六千九百九十二人に上つて居る。即ち年齡の進むに從つてその數增加し、十六歲から十八歲までは全數の三割八分六厘を占めてゐる。

二、不良者となつた原因

更に全國六大主要都市に就いて内務省でその原因を調査した社會的原因と個人的原因は左の如くである。

		男	女
（イ）社會的原因……			
經濟的	貧困にて自暴自棄による者	八七四	一三一
	物價騰貴による者	一七	三
思想的	政治的思想に原因せる者	三九	—
	社會主義的思想による者	三五	五
	無政府主義的思想による者	七	—
	階級的反感による者	二三	六
其他	就職地位の不遇による者	一二一	一
	其の他	二三七	二九
（ロ）個人的原因……			
	一、失戀が原因となりたる者	三四	二四
	二、變質的原因による者	二三七	五八
	三、飲酒が原因となりたる者	二二三	一〇
	四、色情が原因となりたる者	二八〇	八一
	五、家庭狀態が原因せる者	五七〇	八三
	六、誘惑煽動が原因せる者	七七四	二二
	七、興業物が惡化を與へた者	二六五	一三
	八、性來不良にて盜癖ある者	一二〇	二三
	九、怠惰にて放浪生活せる者	一六	一
	十、原因不詳なる者	四	—
	十一、その他に原因せる者	七二四	八六

三、大連の不良少年少女

右は内地に於ける不良少年少女の概要であるが、我が大連市は内地と事情を異にして居るから、内地程に甚だしい不良性のものは居ない。大連警察署の調査によれば、家庭狀態と誘惑又は煽動に原因せるものが最も多い。興業物が惡感化を與へるのは内地と同じだが、思想的原因によるもの卽ち社會主義、無政府主義等の思想又は階級的反感や政治的思想によるものは至つて尠ない。

之等の不良少年少女に對し警察署では相當取締つて居るが、その多くは家庭と學校の當事者で未然に處置され、警察の手を煩はすものは第三期の不良者である。この中には訓戒によつて改悛する者もあれば、全く改悛せぬ者もあり警察ではこの取扱ひを飽くまで秘密にして居る。未成年者の犯罪を法によつて嚴罰するのは大いに考慮を要する事であり、之を爲すときは本人を社會的に葬るのみならず、家庭なり親達の名譽を毀損する事になるので、警察ではこれを極秘に取扱つて居るのである。大連には罪を犯した不良少年少女を保護すべき社會的施設がない爲め一層その取扱ひを愼重にして居るのであると云ふことだ。

未成年者の犯罪は多く微罪であるから、その大部分は被害者と家庭との間、家庭と學校との間に於て夫々處置され正式に警察の手を煩はした少年少女は僅少である。然し現在警察のブラックリストに記載されて居る不良者は數千名の多數に達し且この種の不良少年少女が年々增加しつゝある云ふことは注目すべき現象である。

四、不良性となる逕路

大連に於ける不良少年少女の不良性となつた逕路を調べて見るに、內地のやうな複雜な事情はなく、何れも同じやうな逕路を辿つてゐる。卽ち最初の振出しは活動寫眞であつて、それが一種の病的になり、初めは家族を欺きて金品を持ち出すも、それが自由にならなくなると、大阪屋書店や滿書堂で書籍の萬引きをなし、それを賣却した金錢を以て活動寫眞館に出掛ける。最近も某家の少年が每夜の如く活動寫眞館の邊りを迂路付くので、その兩親は非常に心配し、この暑中休暇中にその少年の通學せる學校の教員に預けたといふ事實がある。活動寫眞熱は十二三歲までの少年に多いが、之れは一種の發作的作用であるから、何時かは自然に矯正されるもの丶、併しそのまゝ放つて置けば、絕えず活動寫眞館に出入し、それが嵩じて來ると、年若き婦女子に附文をしたり、或はその手を握つたり、甚だしきに至つては婦人の腰部を小刀にて斬つたり、正裝せる婦人の衣裳に硫酸を振りかけたりする者もある。

更らに十七、八歲の青年になると、一層性慾が甚だしくその滿足を得んが爲めにカツフエー等に出入し、若いウヰターを相手に蜜の如き話をなし、淡き戀愛に陶醉する。其のカツフエーや飮食店に出入する費用に窮すると、同級生の金品を盜んだり、家族を欺いて金品を持出したり、段々惡い方面に足を進め、遂には遊廓に登樓する樣になる。大連にも此の程度の不良青年は多數ある。殊に上流家庭の青年になると、その遊興振りが一段向上し、一流の旗亭や待合に出入し、美妓を擁して遊蕩に耽り、さうして學業を荒廢する。併し不良少年少女の振出しは活動寫眞、其他の興業物等で、それが發達するとカツフエー、飮食店、料理店等への出入となり、金錢に窮する結果、遂に詐欺又は窃盜を働き、警察の厄介になるのである。

五、不良少女と不良團

不良青少年の通有性とも見るべきは自他の差別的觀念が

薄いことで、他人の物を窃取する位は罪惡でないやうに思つてゐる。彼等は必ず四五名の團體を組織し、それに團名をつけ、一定の宿泊所(一名隱家と稱してゐる)を設けて其處に隱れ、晝睡眠を貪り、夜になつて惡事を働くといふ様なのもある。斯様なものは警察において家庭或は學校側と協議し、その團體を解散せしめ、內地の學校へ轉校させるか又は內地の親戚に預ける様にして居るさうだ。

以上は何れも青少年の事であるが、少女の方は男子程でなく、ブラツクリストに載つて居る者も僅少である。又不良の程度も男子のやうな大膽さはないが、彼等は總じて虛榮心が強く、その花のやうな虛榮心に驅られて、呉服屋その他の商店等にて装身具の萬引きをなすものが多い。家庭より金を持ち出して活動寫眞館に出入し、群集の場所へ出掛けて歡樂氣分を味ひ、遂に男子の不良者と交際し、人目を忍んで戀愛關係を結ぶものさへある。或る一女性の如きはその墮落より流浪してカツフエーの女給となり、刹那々々の歡樂の夢のやうな生活を送つてゐる。

日本々國に於ける不良團の中には年若き美人が混つて居り、それが宛然良家の子女の如く装ふて上流家庭の青少年を誘惑し、さうして金品を卷揚げ、その卷揚げた金品は悉く遊興費に消費されると云ふ甚だしいのもあるが、大連にはまだそんな激しい不良團はない。然しこの八月から九月までの博覽會開催中この種の連中が內地より入込み、大連市內の少年少女を誘惑するやうな事がないとも云へないので、警察署では大いに警戒を加へて居る。

六、保護機關と感化施設

大連には不良少年少女に對する何等かの保護機關も感化施設もないが、本國內地には大正十二年一月に實施せられた少年法及び矯正院法に依つて東京と大阪の二箇所に少年審判所と矯正院とが設けられて居り、東京少年審判所は東京、神奈川兩府縣の不良少年を、大阪少年審判所は大阪、東京、兵庫三府縣の不良少年を取扱ひ、矯正院では二十三歳までの者を嚴格な規律の下に教養し、生活に必要な仕事を訓練せしめて居る。感化院も感化院法の一部を改正して感化院に入院する者の最高年齢十六歳を十四歳に改め、十四歳以上のものは少年審判所に於て審査し、さうして保護處分に附するのである。現在我國にある感化院は國立、道府縣立、市立、私立代用、私立を合して五十六院で、僅に三千人を收容するに過ぎぬ爲め、其他のものは自然放棄さ

れて居ると云ふやうなわけである。

元來感化事業は不良行爲ありし兒童と不良行爲なくとも不良に傾く虞ある兒童とを保護教育するのが目的で、我國の感化院もこの精神から成立つて居るのであるが、その實感化院は殆んど皆惡性者のみを收容する場所となつてゐる故に全くの不良兒でない不良傾向兒を感化院に收容すれば却つて兒童を惡化する事になる。眞に不良青少年少女を保護し教養することを目的とするならば、感化院の外、別に適當なる保護機關を設置しなくてはならぬ。是れ少年審判所と少年矯正院の設けられた所以である。

七、少年犯罪とその保護

大阪府警察部に於ては大正十二年四月中に千四百十八名の不良少年少女を檢擧したが、今同部での調査の内容を世人の參考までに掲げることにする。

一、強盜竊盜の常習者	一一九人
二、詐僞恐喝者	八
三、賭博常習者	七四
四、暴行爭鬪者	一二三
五、色情犯	一七〇
六、遊惰浪費者	三二二
七、浮浪者	一四二
八、其の他	四六〇
計	一、四一八

斯くの如き事實を見るときは、前に記した全國不良少年の統計が示すより以上に遙かに多數の不良者が實際に於て存在することが分るのである。何と戰慄すべき事ではない乎尙ほ大正十二年中に東京、大阪の兩少年審判所に於て取扱つた不良少年の數は左の如くである。

受付總數	東京	三、五五五人
	大阪	六、八九六
保護處分に附したるもの	東京	九二三
	大阪	七三六
審判不開始	東京	二、三五二
	大阪	六、〇三三
檢事局送致	東京	一二
	大阪	六
他の審判所に送致したる者	東京	一七
	大阪	一二
審判未濟	東京	二四三
	大阪	一〇九

之れに由つて見ても不良青少年が年々增加しつゝあるは明白なる事實である。大連にも大連以外の滿洲にも不良少年少女の數が多くなつたのは、この趨勢より云へば當然であると云へるが、この社會上の一つの問題は、一方支那人側の如何をも考へねばならず、殊に國際的都市である大連において、今尙ほ之れに對する保護感化の社會的施設がないといふは非常に悲むべき事である。

撫順炭坑の支人勞働者（上）

南大路高憲

一、撫順炭礦と支人勞働者

撫順炭礦に於ける採炭額は近年內外諸產業の勃興と用途の普及に依り著しく需要を喚起されるに到つたが、此の驚くべき出炭は支那人勞働者の稼行に待つところ多く、今日にては寧ろ撫順炭礦は支那人勞働者を除外しては何等の作業をも遂行し能はないといふが至當である。而して撫順炭礦に在る支那人勞働者の數は一日平均四萬人といふ驚くべき數に達し、是等勞働者の進退は作業全般に影響するところ頗る廣きため、是が待遇と訓練に就いては細心の留意を要すること、更めて言ふ迄もないことである。

最近思想界の變動期にあたり、支那勞働界に於ても著しく勞働爭議事件の勃發を見るに到り、反資本主義、反帝國主義の色彩を濃厚にすると共に、賃金値上、待遇の改善を要求し、勞働組合の公認を迫るなど、漸く從來の態度を一變するに到つたが、斯くの如き風潮が今後益々彌漫し來るべきは想察するに難からざる所である。隨つて今日より是が對策を講究し、一は勞働爭議を未前に防遏し、一は種々の施設をなして彼等の生活安定を計るの要あり。而して這は啻に滿洲產業界のためのみならず、人道上より見て資本家の取るべき當然の任務と云はねばならぬ。

這回上海紡績工場に於て勃發せる一勞働爭議が導火線となりて、遂に支那全土の排外運動と化したのは、支那民衆の資本主義、帝國主義反對の流露に外ならないが、事件を斯かる所に導きたるは、主として支那人勞働者の平素における待遇上の不平に發端してゐる。支那人勞働者が緯となり經となつてゐる滿洲の產業界には、今日のところ以上の如き風潮は甚だしくないとしても、また支那本土と離隔し

て文化の程度尙ほ低いとしても、早晩何等かの波動を蒙るべき可能性は多分に具えてゐる。隨つて今日より是が對策を講究するも決して尙早でない。此時に方り滿洲に於ける支那人勞働者使役地の一たる撫順炭礦の支人勞働者を調査することは意義深きものがあると思推する。

二、支那人勞働者の種別

由來滿洲に於ける支那人勞働者は苦力の名を以て汎く知られてゐるが、その主たる產地は直隸、山東、奉天、その他附近の各省である。彼等の多數は殆んど敎育なく、生活狀態の如きも今日の文化生活と相距ること遠く、北より南東より西に流轉して常に一定の居所を有しない。隨つて向上心なくその日一日のみの生活あつて明日を知らざるものの如くである。撫順炭礦に於ける支人勞働者を便宜上之を上級下級の二に分ち、更に分類して見ると、

- 勞働者
  - 上級
    - 支那人傭員
    - 常役華工
  - 下級
    - 採炭華工
    - 臨時華工

となる。常役傭員の上級に屬すべきのは現在一萬五千人を算し、採炭、臨時華工の下級勞働者は二萬人内外であるがその他坑内、掘進、支柱充塡、採砂、積込、積卸等の雜業に從事するものを通計すれば、前に記した通り、先づざつと四萬人以上の數に達するのである。

三、上級勞働者の種類

（イ）支那人傭員

上級勞働者には甲種、乙種の區別がある。甲種傭員は主として下級勞働者の指揮監督に當るもので、その採用さるゝ標準は、（一）人物技倆拔群なるもの、（二）一箇年常役華工として勞働させ、その成績によりて採用するものであつて、是等傭員勞働者の年齡は三十一歲より四十歲まで五十％、四十一歲より五十歲まで二十五％、二十歲より三十歲まで二十五％である。

由來勞働と年齡とは甚だ密接なる關係にあるが、右の表を見て判る如く、三十歲より四十歲までの血氣旺んなるものが全數の半に達せるは、此種勞働の性質より見て當然である。又出身地の相違は勞働者の性質を異にする結果、その技能の上にも著しき差異を生じ、能率にも多少影響してゐる。左に省別による勞働の相違を示す。

(イ) 山東省出身は坑内作業に從事するもの多し。
(ロ) 直隷省出身は機械作業に從事するもの多し。
(ハ) 奉天省出身は坑外作業に從事するもの多し。

炭坑作業は他の作業に比較して一般に過激に捗るもの多く、隨つて勤務時間との關係は最も重視されるのであるが支那人勞働者中傭員の作業時間は日本人傭員と同樣にして日勤、二班交代、三班交代の三種に分れ、日勤者は平均八時間の勤務であり、二班交代のものは晝勤者十時間、夜勤者十四時間の割合である。斯くの如く勤務時間の一般に長きは、入坑作業等の過激にして疲勞を覺ゆる勞働に照らして、餘りに酷に過ぐるが如く思はるゝも、支那人勞働者が從來の習慣より勞働時間の短きは收入の減少を來すものなり、との謬見を有する爲め、止むを得ず長時間制を採用して居るのであると云ふことである。併しながら能率、保健、安全の諸點より時間の短縮は當然爲さねばならない所であると思ふ。聞くが如くんば、滿鐵會社は近き將來において現在の請負制度を更改して八時間制を採用すると共に彼等勞働者の生活向上に努力する由である。

勞銀は彼等の通貨たる小洋銀を以て月末一回宛支拂はれ一日の賃銀最高二圓三十錢、最低三十錢、平均六十錢である。最低三十錢には職工手傳や小使の幼年者が多數を占めてゐる。是等傭員に對しては毎年四月、十月の二期に一回三錢以内の昇給をなしてゐるが、この外、坑内作業に從事する者には入坑手當を支給し、その他危險區域に稼行する者には、その萬一の場合を考慮して、別に危險手當を支給してゐる。更に甲種傭員は日曜日と祭日を公休日として而も日給を支給されて居り、乙種傭員は僅に三大節を公休日とされてゐるに過ぎないけれども、全月皆勤者には特に二日分の日給を加給して勤勉を奬勵してゐる。

既記の如く支那人傭員の收入の多きは日給二圓以上、平均六十錢内外を所得し、之を彼等の出身地に於ける生活費一日一人拾錢平均と對照すれば、雲泥の相違で、一家の生計を維持して餘りあるは勿論である。今滿鐵會社が彼等に與へつゝある便宜を列記してみると、

(イ) 一部通勤者を除き、他は凡て會社所屬の社宅又は會社と協定せる興業會社舍宅を最も低廉なる家賃を以て貸與せらるるため、生活上種々の利便を享有し、住宅についての憂なきこと。

(ロ) 會社において石炭及び日用品の廉賣をなすため一般市民より安價なる生活をなし得ること。

右の外、會社は銀價の變動による換算の保證を與へ、更らに共濟規定を設けて傭員をその共濟會に強制的に加入せしめ、給額に應じて醵金させ、傷病、疾病、死亡等の異變に備へ、總體的生活の安定を計るべく努めてゐる。共濟規定の大略を抽記すれば左の如くである。

(イ) 業務に起因し病傷に罹りたる場合は傷病の程度によりそれぞれ公傷手當を支給するは勿論、治療の實費と治療中の日給額を支給す。

(ロ) 業務に起因せずして傷病を蒙りたるときはその治療に要する實費を支給し、尚ほ引籠十日以上に亙る時は日給の半額以内を給す。

(ハ) 家庭においての病傷のときも亦その治療に要する費用の三分の二を補給す。

(ニ) 職務上の病傷に起因するに非ずして死亡したるとき、又は病傷のため業務に堪へずと認定せられ許可を得て退職するときは、その勤務年限に應じて救濟金を給與する外、死亡せるときに方り更に日給百八十日分以内の金額を遺族に給與す。

(ホ) 退職の場合は本人の醵金金額に利子を加算したるものを退職手當として支給す。

尚ほ撫順炭坑に於ける支那人傭員の數を掲記して參考に供すれば、その數四千六百三十一人にして、最高給額は二圓三十五錢、最低給額は三十錢、平均六十九錢であるが、尚ほ次に同じく上級勞働者としての常役華工は、既記の如く傭員に採用すべき試用中のものであるから、その待遇も略大差がなく、今その年齡を見るに、

十五歲——二十歲	五%
二十一歲——三十歲	三〇%
三十一歲——四十歲	四〇%
四十一歲——五十歲	二五%

にして、三十一歲より四十歲に至るまでの壯年者の多數なるは、傭員と同樣であるが、此の傾向はその他の勞働者においても等しく見られ得る所である。

勞銀は凡て出來高拂ひの法を採用してゐるため、各自差があるが、最高一圓七十錢、最低四十錢である。而して常役華工は三十工滿數を以て一支拂をしてゐるため、採炭上に於ては甚だ有利であるが、華工自身から言へば勞銀の入手が遠きに過ぐるの嘆を發せしめてゐる。更に常役華工の傭員に劣るは共濟規定のなきことである。それ故、會社では別に救濟規定を設け、疾病に罹りたる場合は入院費と日給を支給してゐるが、傭員ほどの恩典はない。

支人勞働者の覺醒と工會條例案

奉天　田原漠東

上海事件の發生以來、上海の商務會を初め、南支各地の商務會や勞働團體は、這回の勞働運動に鑑み、中央政府に向つて、勞働組合法を制定實施して一日も速に勞働者を保護し、一面勞資の協調を講ずべしと云ふ猛烈な運動を開始した。右の運動金は滿蒙の勞働者をも糾合して全國的に起ち、飽まで目的を貫徹せんと、既に奉天にも入込んだ。北京政府も時勢の推移に鑑み、農商部に勞働組合法案の起草を命じて居たが、今同大體の案が出來、閣議に提出して贊成を得たので、更にこれを法制院に交付して、文字の修正を行ひ、然る後、執政令を以て全國に公布し、同時に之れを施行するといふ段取になつて居る。

上海を初め南支各地には、變則ながら種々の勞働團體が組織され、上海に本部を有する勞働同盟工會の如きは、その最も進歩したもので、この勢力は北京、天津にも伸びて居る。大正十一年同會の幹部は奉天に來り、城内の商務總會及び有力な勞働機關に對し、本會に加盟し、奉天に支部を設置し、此處を中心として滿蒙に其の勢力を伸張しやうと策動したが、遂に其の目的を達し得なかつた。爾來滿蒙の產業發達と共に各種の工業起り、勞働者も著しく增加し奉天のみでも約三萬の勞働者を見るに至り、而して時代の進展に伴ひ、近年頻發する勞働爭議が陰に陽に彼等にショツクを與えた結果、勞働者の思想も餘程變つて來た。一兩年來奉天に爭議の漸く頻出せるは、慥に其の反映とも言ひ得るが、奉天製麻會社の茶話會、南滿製糖の同僚會の如き消極的ではあるが、準勞働團體として見るべきもので、支那人勞働者も餘ほど目醒めて來たことを立證し得るのである。此の外、省城内各種工業に從事する革工の中にも、之れと同一の組合が少からず存在する。

今前二者の內容について見るに、奉天製麻會社の同僚會は、初め熟練職工のみに依つて組織されたもので、其の目的は相互の親睦、利益の增進、智識の向上を主眼とし、一面會社の諮問機關として、會社もこれを善用しやうとして

生れたのだ。從つてこの勞働團體の組織されたことは、會社に脅威を感ぜしむる事なく、勞働者もこれを惡用する意志はなかつたのであるが、本會に加入する資格を有せね多數の筋肉勞働者より恰かも會社の傀儡であるかの如く猜疑され、同時にその會員たる勞働者間にも圓滿を缺いだ爲め果ては內訌さへ生ずるに至つた。第一次及び第二次の勞働爭議は、物價昂騰から來た生活難に依る賃金の値上が當面の問題であつたが、其の反面には本組合に對する敵本主義の加味して居たことは、幹部の排斥が條件の一項目にあつたことに徵しても判然する。この結果、同僚會は一部熟練職工の機關とせず、之を全勞働者の機關としたが、これが爲め本會當初の趣旨は煙滅され、一變して資本家に對抗する勞働團體となつて了つた。一方南滿製糖會社の茶話會も約七十名の技工補によつて組織され、前者と同一趣旨の下に生れ、每月一回會合して居たが、種々の變遷と時の變化に伴れて、これも前者と同一の結果を見た。

這般上海事件と前後して勃發した奉天製麻、南滿製糖兩社の勞働爭議は、兩者が呼應して起つた結果で、彼等は斯くして漸次團結力を强めつゝある。偶々勞働組合法案が制定發布されんとすと聞くや、此等の勞働團體は商務會に側面運動を試み、上海總商會の諮問に對し、贊成の旨を回答するに至つた。勿論法案は支那領土內にのみ施行されるもので、滿洲における我が行政權內に屬する地域內の勞働團體には沒關係であるが、併しながらこれがいよ〳〵實施せらるゝ曉に至らば、直接將た間接に甚大の影響を及ぼすものとして注目されて居る。今奉天商務總會に諮問された勞働法案の草案を紹介して參考に供しやう。

工會條令草案

第一條　同一職業に從事するところの勞働者は同業の公共利益を維持し且これを增進する爲め本條令に依りて工會を組織することを得

第二條　工會は法人とす

第三條　工會の職務は左の如し

一、會員の職業紹介その他互助に關する件
二、職工待遇改善に關する件
三、勞働狀態の調査報告に關する件
四、會員の儲蓄及び勞働保險に關する件
五、會員の消費組合及び共同宿舍に關する事項
六、關係人の請求により勞資間の爭議に對して之れを調停するの事項
七、職工の利害及び休戚に關する事項の請願又は政府當局に向つて意見を開陳する事項

八、職工衛生に關する事項の請求竝びに職工の智識及び技能の增進に關する事項

第四條　工會は一區域內に於て左記各項の資格を完備せる五十人以上の職工を發起人とし章定を定めて該地方行政長官に向けこれを請願し該行政長官より更らに地方最高行政官を經て農商部に請願し許可を經たる後にあらざれば設立することを得ず

一、現に一定に職業に從事し而して該事業に繼續して三箇年以上勤めたる者

二、年齡三十歲以上の者

三、文義に精通し普通文書を書き得る者

前項第一款の發起人資格に關するものは現代式により以前從事したる官公私有事業の各該工場より發行せる證明書を附し請願書と共に呈出すべし。官有又は公有事業に從事する職工が工會を設立する時は前二項の規定に依る外各該主管部署に夫々報告して許可を得べし

第五條　工會の章程は左記各項を明記すべし

一、名稱區域及び事務所の所在地

二、工會の目的及び事務

三、職員數、權限及び選擧方法に關する規定

四、會議召集及び議事秩序に關する規程

五、經費及び會計に關する規定

六、會員の資格制限及び權利義務に關する規定

第六條　工會々員は年齡滿十六歲以上にして設區域內に在る各種工場に雇傭さるゝ勞働者に限る

第七條　左記事項の何れかの事情あるものは工會の職員及び發起人となることを得ず

一、公權を褫奪され尙ほ復權せざるもの

二、精神病ある者

三、本條例に定むるところの第二十二條の事宜に對し重要なる責任を負ふもの

第八條　工會は會長、副會長各一名、監事七名乃至十五名を設く、總て名譽職たること

前項に掲げたる職員の資格は本條例における第四條第一項各款の規定を適用するものとす

第九條　工會は各所在地に事務所を設くることを得

第十條　工會の所用費は別に基金あるものを除く外各會員の納入する會費を以て之れに充つ。前項の會費は各會員の收入額に照らし豫め章程を以てその徵收標準を示すことを得るもその額は該會員收入額の百分の三を越ゆることを得ざるものとす

第十一條　工會の基金勞働保險金及び會員の儲蓄金等は凡て國庫代理の銀行に預入すべし。前記の基金、保險金、儲蓄金を預入せる銀行が破產せる時は優先償還を請求するの權利を有す

第十二條　工會經費の出入は每年豫算決算を作成し全體の會員にて開會決議するものとす

第十三條　工會々員が必要時に際し十分の一以上の同志ある時は代表を派遣して工會の帳簿及び一切の財產狀況を調査することを得

第十四條　工會の職員は每年左記各項に從つて表を作り農商部に報告して取調べに供する外、主管部署にこれ

を報告して參考とすべし
一、會員の姓名、人數、入會年月日、就業せる工場及び其の變動、死亡、傷害等
二、經費の出入及び財產狀況
三、事業經營の成績
四、罷業或は特殊事件の有無の經過

第十五條　工會職員は全體會員より選出す

第十六條　選擧を行ふ時はその期日より十五日以前に豫め之れを各會員に通知し又當地行政長官にも之を呈報し係官を會に派遣して監視すべし

第十七條　工會職員選定後は農商部に呈報して取調をなし又各主管部署に之を備ふ

第九八條　工會の職員任期は二箇年間にして重任することを得、その中途において補充せられたるものゝ任期は前任期より引繼き通算す

第十九條　工會は每年定時會議一回を開き必要時に際しては臨時會議を開くことを得

第二十條　工會章程の變更は全體會員三分の二以上出席の上にて決議するものとす

第二十一條　工會職員に法令違反又は其他の不正行爲あり工會の財產、名譽、信用に損害を與へたる場合は會員過半數の決議により退職を命ずることを得

第二十二條　工會が法令に違反し公安を擾亂し公益を妨害し或は該管官署の禁止令に服せざる時はその當管官署は會務の停止を命令し農商部及び主管部署に報告許可を得て解散を命令することを得

第二十三條　工會解散の時は所有財產及び債務は各會員において分配し又は負擔すべし

第二十四條　本條例第一條及び第四條の規定に違反して設立されたる工會はこれを禁止をなす外更らに各發起人を百元以下の罰金に處す

第二十五條　本條例は公布の日より之を施行す

失業者救濟聲明

若槻內相は失業者救濟に關する聲明書を發表した『最近數箇月の職業紹介事業に現はれたる統計などに徵するに例年に比して失業率漸く多く加之目下の米價はこれら失業者の生活をして頗る困難を感ぜしめて居るやうであるから現狀のまゝ推移して冬季の季節的失業增加に入ることは誠に懸念に堪へないところである併し失業者に對し金品を施與するが如きは徒らに懶惰の風を助長するの弊に陷り易いものゆゑ努めてこの方法を避け失業により實際に生活困難なるものに對しては出來得る限り職を與ふるやうにし而してその勞力を地方公共團體の事業方面に用ひ派れて救濟の目的を達するに若くはない隨つて當該團體にして之れに要する財源を起債に求めんとするときは必らずしも從來地方債を容易に許可せざりし方針を固執せざることゝし又地方團體がこの事業のために支出したる費用に對しては政府は獨りそれが地方團體のみの負擔とならざるやう相當考慮することにしたと考へる併しながらこれは決して一般的に事業を起して失業者を吸收するの意ではなく失業のため眞に生活困難なるものゝ救助に代ふるに仕事を起しその仕事を與ゑ而してその生活を扶持せんとするものである仍つてこれが具體的方法を講究するため近く失業問題の焦點にあたる六大都市の關係者らを內務省に集めてその對策を講ずるやうにいたしたいと考へて居る』云々

社會問題彙報

有料又は營業職業紹介取締

內務省社會局職業課では「有料又は營業職業紹介取締規則」の原案作製に努力し既に完成され近く內務省令として公布する運びにまで進んで居るさうであるが此案の趣旨に就いては既にワシントン會議において提出された私營桂庵廢止の勸告案が指摘するやうに「從來不正なる紹介業者に依つてその尊い社會生活への第一步を陷れられ救ひも出來ない人生のどん底に一生を過つた憐れな敗殘者の例は數限りなく殊に今日のやうに目まぐるしい世の中で失業者の波がたぎりたてゐる時代においては職業就職口の媒介と云ふことは最早單なる營利主義的機能だけでは濟まなくなりその存在はどうしても社會的機能を具備した生活必須の存在として現はれて來ればならぬのであつて現にその機能を果たすべき公設職業紹介機關が他方に發達して來た今日動もすれば弊害を伴ひ勝ちの私營紹介業は極力制限すべきが至當となり同時に從來この取締が各府縣警視廳令に依つて頗る不統一を極めてゐたのを斯業の嚴正公平を期する爲めに全國の統一を期する」と云ふ點にある。

この營業職業取締規則は去る四月公布された「勞働者募集取締規則」を補足したもので勞働者募集規則は主として鑛山、土工紡織女工の狩出など戶外に於ける勞働者媒介に關するものであつて藝妓、娼妓、女中店員等の戶內に於ける職業紹介については何等規定してなく隨つて弊害もあるのでそこでこれが取締規則として今度のやうな案が生れるに至つたものである。

病的神經質の多い保護兒童

幼少年保護所等に收容されてゐる幼少年は何處となしに顏色が良くないものが多い彼等の榮養體格等は普通の兒童と比較して大差がないが可なり神經質なものが多いので自然蒼白い樣に想像される診查の結果に依ると八歲から二十歲までの二百六十四人のうち約半數が顏色蒼白者で言語なども精神薄弱なために明瞭を缺ぎ意志表示の充分でないものが十一人ゐて多くは恰も小兒の言語の如く甘つたれた言葉を使つてゐるといふ痛ましい彼等の精神狀態であるが此の二百七十一人中には白痴が十一名、痴愚が四十四、神經質が七十五名、變質病者が四人合計百四十四人で是等が約半數の多數を示してゐるといふ有樣である。

既に彼等の精神狀態が此のやうである爲めか彼等のうちには尾籠にも寢小便するものが實に多數で二百七十一人中十八人は夜遺をする兒童なのにも驚かされる種別して見ると八歲が一人、殆んど每晚ある白痴で十歲は三人、一人は一日置き位の痴愚で一人は一年に五六回一人は時々あり何れも神經質な兒童である十二歲は二人、共に時々ある神經質者で十三歲は一人、殆んど每晚ある痴愚、十四歲は三人、每晚のもの一人で痴愚時々あるもの二人共に神經質な兒童である更に十五歲には三人、每晚のもの二人、一人は痴愚、一人は白痴、他の一人は癲癇の發作時に遺尿する白痴であると十六

歳では四人、何れも時々あるもので二人は痴愚二人は白痴十七歳では一人時々遺尿する痴愚で此の外十九歳のもので現在はないが十六歳まで時々遺尿したものが一人あつたと要するに寢小便をする兒童は前にも述べたやうに白痴、痴愚、神經質な者に多いが一般的にも相當な年齢に達しながら小便するのは何處かに精神的缺陷のあるものに多いから注意されたいものだ。

八大都市に商事調停裁判所

司法省では東京だけでも一日に百數十件以上も裁判所に持込まれて來る商業上の紛爭を一日でも早く解決して之までのやうに繋爭に數年を要した當事者間の不利益を除く一手段として來年四月から是非とも東京横濱、名古屋、京都、大阪、神戸、廣島、福岡の八大都市に商事調停裁判所を實現せしめたいと明年度の豫算提出期を前にして極力奔走して居るがそれと同時に今度新たに商事仲裁々判を商事調停裁判所に兼ねしむる案を立てた此の案の趣旨は元來調停裁判所なるものは繋爭當事者双方の和解を本旨としてこれに調停を依頼するのには當事者双方の同意を要する尙ほ折角委員が調停を試みても當事者の一方がそれに對して不同意を唱へた場合には調停の効力を發生しないそれでは二重に正式裁判を乞ふこと〻なるので爭ひが持ち上つた場合にはその爭ひを仲裁々判所に持ち出して民間から選定したところの仲裁委員と判事の頭に依つて成るべく公平な仲裁を行はしめ此の仲裁に對しては絶對に不服を唱へられない事にする卽ち仲裁々判所の言渡しの決定は判決と殆ど同一の効力を有するものたらしめそして裁判費もごく輕微で濟むのである。

右に就いて民事局長島參事官は語る「英國邊では餘程以前から此の方法を採用してゐる國際取引の繋爭解決も近く此の方法に改められる事になつてゐる此の仲裁法に依ると何んなに長くても三四月より長くは無い何萬圓といふ多額の繋爭事件でも訴訟費用は僅かに五十錢で片つくからいよ〳〵實施の曉は非常に便利である」と。

新設される滿鐵の改善社宅

滿鐵では從來の社宅が杜撰な建築で通風採光等の衛生的考慮さへしてないため場所によつては非常に非衛生的のものがあり從つて社員に肺結核その他の病氣が多いといふので之れが改善をなすべく夙に斯道の權威者として知られてゐる高梨醫學士を招聘したが同氏は着任後直ちに現在の社員住宅に關し諸般の調査を行つた結果愈々近く新設される衛生研究所内に研究用の住宅數戸を建設しこれにより保温設備から採光、換氣は勿論のこと尙ほその他滿洲の氣候並びに風土に適當した模範的の住宅建築法をつくることになつた而して既に本年度分として豫算數千圓を計上しその準備に着手したがこれにつき金井衛生課長は語る。

室内に炭酸瓦斯が多くなり酸素が少くなることが人體に有害であるといふ説は昔から唱へられて居たことであるが最近ではこれに關する研究が進んだため有毒瓦斯が漏洩して居るとか或はペチカやストーブの焚き方が惡くそれから毒瓦斯が發生してゐるやうな特別の場合は別だが普通の狀態例へば多數の人が一堂に集まり窓を密閉してゐる時の如きに於て頭痛がするとか眩暈がして氣持が惡くなるのは決して人體から發散する炭酸瓦斯が多くなり空氣中の酸素が減

つたことから起るものでなくそれは熱度と濕度が增昇して人體に發した熱の放散を防ぐことによつて生ずるものであると云ふことが判つたそして斯かる場合の炭酸瓦斯は有害でないといふ結論になつてゐるがその最も卑近な例を揭げると夏期において非常に恐れられてゐる日射病の如きもので從來は日光の直射をうけること詰まり强い光線を受ることによるものとされてゐたけれどもその實は決して光線直射でなく熱と濕度の鬱氣關係のために起るところの現象であつてその證據には薄い着物を着て發汗が自由に放散されるやうにして居れば決して日射病には罹らないものである而して夏期において頭痛がしたり消化器能力が衰弱するのは全部熱度と濕度が高くなるために起るものであつて統計的に見た人體の死亡率は全くこの關係に支配されてゐる故に住宅などは充分この點に留意して建築しなければならぬ事になるので今回の研究を始めたのであるその方法は住宅の濕度、溫度、換氣から材料の選定、家屋の構造及びその運用等について研究するのである斯うして滿洲の風土及び氣候に適合した模的範の家屋が出來るとすれば至極幸ひである

露天市場の茶舖と密淫賣婦

大連市小崗子支那人貸座敷營業者は財界不況の影響を蒙り倒產休業者續出の狀態にあるが之が原因は同遊廓唯一の得意先である市內各油房業者の營業不振が甚大なる影響を與へて居るのであつて更に第二の原因としては現在同地露天市場內に五十數軒の茶舖といふ名の下に默許された淫賣屋及び同地西崗街、北崗子橋、北崗子、東關街、日淸街等に現在多數の密淫賣婦が跋扈し之れが影響を蒙つたことは爭へない事實である元來露天市場內の茶舖はその開設當時當局が政策上默許したもので當時小崗子一帶に涉つて千數百名の密淫賣婦が跋扈しその取締上に就いて兎角の輿論が喚起され下級支人及び苦力等の唯一の慰安として之れが一掃は社會政策上且つ又小崗子發展上頗る重大事と見做された結果之等淫賣婦を一纏めにして默許のうへ營業せしめたならばさの見地から現在の如く同市場內に茶舖を開設せしめ斯くして各所に散在した密淫賣婦を同所に狩り蒐めたのである。

當時は之がために一時同管內に密淫賣婦の影を認めなかつたが其後漸時增加し現在にては茶舖開設以前の如く多數に上り全く茶舖開設の意義を認められない狀態になつて了つたのである一方貸座敷組合に於ては官憲の取締規約を遵守して經營するにも拘らず玉代その他の關係上顧客は漸時之等茶舖に吸集され而も規則の嚴守を迫られて居るが一方茶舖は何等官憲の干涉なく營業して居る狀態にて其間多大の矛盾が伏在して居る殊に茶舖は檢黴等もなく娼妓は檢黴を嫌忌して茶舖の方を希望する狀態で貸座敷組合では酌婦を抱るに對しても多大の困難を感じて居るといふ狀態に其筋に於ては目下之れが對策につき研究中である。

共濟制度を支那人にも均霑

現在滿鐵に於ける共濟制度は日本人從業員間にのみ實施されて支那人從業員には何等共濟制度がなかつた從つて滿鐵では此の共濟制度を敷衍して支那從業員にも及ぼし日本人同樣に從業員の入院料、治療代、扶助料、癈疾救助金、弔慰金および退社時に於ける年功金等を給付して支那從業員の生

活上並びに待遇上の改善を圖ることとし先づ全線の關係各方面に對し意見を聽取中であつたが此程漸く全部の意見も集まつたので目下之が實施方につき具體的の方法を調査研究中で既に大體の方針も纏まり居れば近く重役會議に附し而してその決定を俟つて實施の運びとなるとの事である。

　最初滿鐵の意嚮としては初めての試みでもあり最初から全從業員に亘つて實施するは甚だ困難なる事情もあるべきを豫想し漸進的に實行する考へで居たが意見聽取の結果は豫期以上の好成績を示し僅に二三の箇所を除く外は全部贊意を表して來るといふ有樣で最初から一萬人以上の參加者がある見込である而して其の方法については給付方法は日本人のそれと同一方法によるも唯會費徵收のとき月給額に比例せず全部一樣に月額四拾錢づゝを集る方針で內容の細則は決定と共に發表さるゝ筈である。

一婦人の力に成る結婚改善

愛媛縣北宇和郡御鎭村の處女會長福田富枝女史が主唱になつて同村の結婚の改善を圖ることに決定し神前結婚の奬勵や離婚防止を企てる外更に進んで村費を以て婚禮服及び婚禮諸道具を購入しこれを結婚者に貸し與へ一般に費用を省くことになつたがいよいよこれが物品は全部購入されたので此の程青年團、主婦會、處女會の聯合會を開催して正式にこれが實行を決議した。

　同村は山間郡にある貧乏村で稅金の如きいつも多數の滯納者をみる狀況だつたが最近村民の自覺によつて種々の事業が計畫され漸次面目を一新せんとしつゝあり殊に處女會の發達は著しく二島村につぐの模範處女會としてその名を謳はれるにいたつた而かもこれが裏面には福田女史のあることを忘れてはならぬ女史は多年會長の椅子につき私財を投じて處女のために努力を拂ひ更らに一步を進めて婦人の力によつて村の舊習を打破し徹底的に改善して眞の理想鄕を建設しようと發心したその第一步が今回の結婚改善である卽ち同村民は年々婚禮のため無駄な金を捨てつゝあつたのを慨し村長や村會議員を動かして前記の如く村費で購入することに決定したのであるが一人として反對する者はなかつた斯くて多年の舊習から脫して本人同志の理解にもとづく簡易な結婚はまさに取り結ばれようとしてゐる。

「一人の力を恐れよ」と先哲が警告したやうに女史の力は偉大であつた女史は更らに新しい計畫をたてゝ村の文化のために益々大いに努力するといつて居る我が日本にも斯うした婦人が段々多くなつて來て社會の凡ゆる惡習を打破し改善して行くことは社會改善上甚だ願はしいことである。

俸給生活者の爲の金融機關

「俸給生活者には特有の妙な自尊心があつてどんなに生活に窮しても他人の救助を受けることを厭がるものが多いそれで俸給生活者自身の手によつて救濟機關を設ける必要がある」といふ趣旨から大阪市社會部吏員二十五名が昨年五月「大成會」といふのを作り預金と貸附の金融機關とし毎月一口一圓づつ（十口まで持つことが出來る）を納め貸附利息は月一步（百圓に付一圓）とし會員の洋服、靴などの大口買入れをやつてゐたその成績を見ると利益一割六分を擧げてゐるので今度の社會部關係の吏員三百二十名に及ぼすと共にこれを基礎にして俸給者の一般市民から成る貯蓄銀行と信用

組合のあひの子みたいなものを作る案を立てゝ近く關市長の許へ差出す由。

大體の方針は現在の會員のほかに約一萬人の一般市民から會員を募り會への納金は月一萬圓年十二萬圓としてこれに利息を合して十二萬五千圓これを元にして資本金五十萬圓（四分の一拂込み）の貯蓄銀行兼信用組合を組織し「金融部」と「事業部」との二つを設け金融部は專ら預金と貸附に當り事業部は信用購買組合の仕事や市役所關係書類の印刷などを引き受けて利益をあげ尙ほ場合によつては今年の秋に出來上る市の月賦賣り住宅の住民に對する日用品一切の販賣方なども引受ける計畫である。

金州に出來た少年赤十字團

關東州唯一の少年赤十字團を組織せる金州小學校では過般米國ニユージヤーシーの一小學校より少年赤十字團の行事として圖**畫、綴り方の送附を受けたので之が返禮さ**して兒童の作製に係る圖畫、綴方帳一册を造り赤十字社滿洲委員部の手を經て先方に送り屆けることにし同委員部では之に適當なる英譯の證明を附加して發送すべく準備中であるが右に關して滿洲委員部の當局が語るところを記せば左の如し。

少年赤十字團は平和條約第二十五條の規定卽ち聯盟國は世界に亘り健康の增進疾病の豫防及び苦痛の輕減を目的とする公認の國民赤十字篤志機關の設立協力を獎勵することを約すとの主旨より世界的に組織されたもので內地でも旣に千八百九十一團隊四十六萬一千餘の小學兒童を會員として居りボーイスカウトの如きも漸次之に改良さるる傾向である滿洲では今のところボーイスカウトの全盛で赤十字の少年團は金州小學校のみであるが夫々長所がある事でもあり又兩立出來ぬ性質のものでもないから將來州內各小學校にも少年赤十字團の設立を獎勵したいものだと或る人は語つた。

方面委員に救はれた一家族

大阪市住吉區天王寺第三方面は七月二十八日大阪養老院で委員會を開き昨年九月以來の事業の內で重なもの二、三を發表したがそのうち岩田常務委員から報告された話の一つに方面委員に救はれた一家が委員の熱心なすゝめで成らぬ中から貯金したゝめ二回までも一家を襲うた危機から辛うじて脫れることの出來た話がある。

東京に中國分町二〇九杉浦三五郎（四一）は妻くに（三八）長女いく（一五）二男國助（一〇）二女しづ子（八つ）の五人暮しで元は愛知縣碧海郡矢作町大字上佐々木字西屋敷で農業のかたはら附近の織工所に勤めてゐたが「大阪へ行つて一儲けしよう」と家財全部を賣拂ひ百圓ばかりの金をつくり一家をまとめて大正十二年の十一月大阪に來た併し期待は裏切られ不景氣風の吹きすさむ中を血眼でさがしても職は見當たらずその內に所持の金は少くなり二十一日あまり經つた時には十圓にも足らぬ位になつたので三五郎は善後の始末をつけて貰ふため天王寺第三方面委員に相談にゆきその結果關東煮屋や巴焼店を出したりしたが馴れぬ事とて客がつかず一家はこれでとても暮してゆけぬ**ので方面委員の世話や夫婦が就職口を探し**まはつたあげく昨年の春頃くには女工として三五郎は夜番としていづれも中山太陽堂の工場に雇はれつゞいて長女いくも電話交換手となつたので一家はどうにか斯うにかやつてゆけるやうになつたその時委員達か

ら貯金をすゝめられ始めはしぶ〳〵三圓五圓と事務所へもつてきて貯金してゐたが四十圓になつた去年の秋、三五郎夫婦が一時に病氣になり一箇月あまりも休みまたも本年春夫婦が病氣に襲はれたときには貯金ゆゑに養生も出來、二人の子供の通學も出來るやうになつたと云ふことだ。

墓地の不整理を嘆く篤志家

市街擴張のため移轉を唱へられた大連嶺前屯共同墓地は反對意見があつた爲か中止となつたらしいが同墓地に一度足を入れて見ると雜草いたづらに生ひ茂り墓標の如きも散亂し且つ供物なども支那人等によつて踏みつけられ全く見る影もない有樣だ祖先崇敬の意味から將たまた邦人の土着心を涵養させる點から云つても甚だ遺憾な至りだ「かくの如き墓地の不整理は日本人の恥辱だこれは甚だ少いがこの金によつてたとへ一部分でもその墓地が整理され且墓標を立て直すことが出來たら滿足です」と山縣通安井瀧右衛門といふ人が遼東新報社を訪れ金二十圓を添へて配慮方を申込んだ仍て同社は直ちに墓地整理當局に對しその旨を傳へ右金員の交附手續を取つた。

尙ほ安井氏は「お盆だといふのに此の墓地は草取りを一つするのでなし恰も荒野の狀態です殊に同所に勤める事務所員の不親切と來たらお話しにならないせめてお盆の間だけでも供物を整理したらと意見すると「番人ではない」と素氣ない挨拶であるこれでは地下に眠れる祖先お靈に對し甚だ忍びない事であるから當局において何んとか考へて置いて貰ひたい」と涙を流さんばかりに殘念がつてゐたさうだ。

失業防止委員會の組織計畫

近年引續いた財界不況に基づく失業者の群は增加するばかりで容易に救濟しつくされさうにもないそこで大阪府では失業後の救濟方法も必要であるが失業者となつて路頭に迷ふ前に或る程度まで失業防止の可能性があることに着眼し今回社會課が府廳內の職業輔導會と提携して資本家と勞働者を包含した失業防止委員會を組織する計畫を樹てた委員の數は三十五名の豫定で使用者の利益を代表すると認められるもの、工場勞働者の利益を代表すると認められるもの自由勞働者の利益を代表すると認められるもの、職業紹介機關の代表者、本事業に關係ある官公吏、特に學識經驗あるもの以上のものを囑託する方針である。

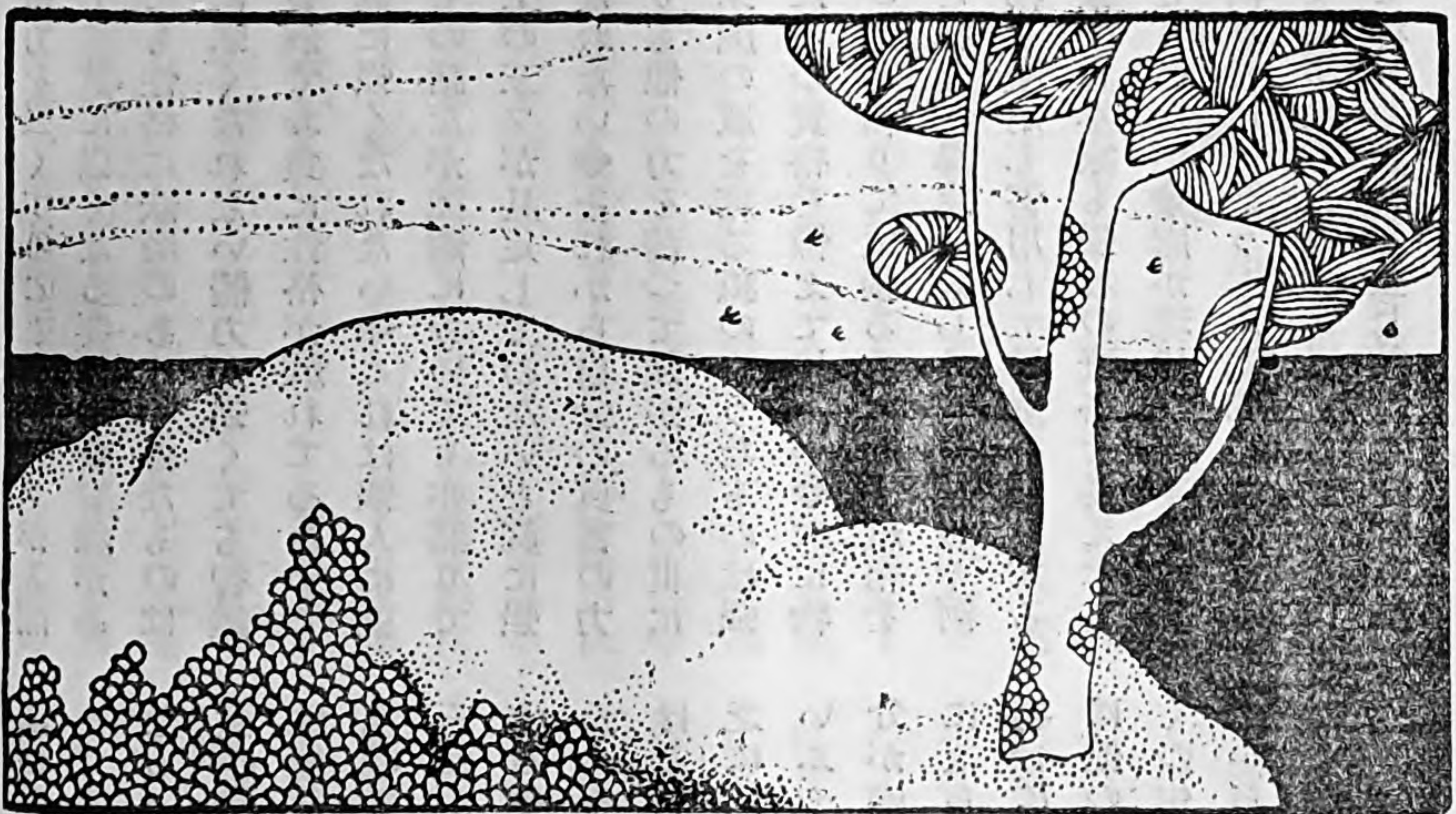
この施設は歐米諸都市における失業委員會の制度の長所を採つたもので單に調査機關たるに甘んぜずして進んで實行に當らんとするものであるがその事業としては知事の諮問に應じ失業に關する調査を行ふほか尙ほ失業救濟に必要なる事業の實行即ち工場が職工を減ぜずして濟むやうな方法を執ることを案を具して勸說すること、失業防止に對し社會の諒解を得る手段を講ずること、自治體に對し失業救濟方法を講ずべきことを案を具して勸說すること職業、紹介機關に意見を提出すること、失業救濟基金造成の施設調査およびこれが施設の勸說をなすこと等である。因みに內務省社會局では今回いよ〳〵失業者救濟の目的を以て地方自治團體に土木事業その他の公益事業を起さしむる事となり尙ほこれに對し國庫は補助を與へ又起債をも許すことになつたがこれは英國等で夙に行つてゐることで失業者救濟策として稍々根本的のものだ。

—(弱　肉　強　食)—

弱肉強食

◆搾取され虐待された民衆が水平線上に躍り出やうとするが如く壓迫され凌辱された民族は頭を擡げやうと悶いてゐる◆前者は勞働運動となり農民運動となり水平運動となつて對内的の大きな社會問題となつた◆後者は支那に印度にエジプトにアラビアに或は黑人種の間に民族運動となつて現はれた◆この二ツの問題を大きくしたのは歐洲戰爭でこの戰爭が勞働者を覺醒せしめ更らに民族自決の勢ひを煽つたことなどがその重なる原因だ◆對内的社會問題の民衆運動は反資本主義であり國際的性質を有する**民族運動は反帝國主義である◆資本主**義と帝國主義とは同じ腹から生まれた兄弟のやうなもので内における資本主義の國は外に對して往々帝國主義の國となり易い◆帝國主義のことは別項に述べて置いたが大統領を戴く共和國のアメリカは世界における強大なる資本主義國で同じ資本主義國の英國を凌駕した程だから外に對して勢ひ帝國主義の威力を揮ふやうになる◆尤も今日は侵略すべき土地がなく有つても強いてそれを取るのは不得策であるため當今のアメリカは領土侵略や主權侵害などはやらない◆併しその資本主義の威力は歐洲にも亞細亞にも及んで居りその脅威を感ずるもの豈獨り西のフランスや東の日本のみならんやだ◆力の強いものが現はれるとそれが特に力を濫用しないでも自然と周圍にその力の壓迫を感ぜしめる◆この點から見ても資本主義と帝國主義の兄弟同士であることが分るト同時に帝國主義といふ言葉はモハヤ古臭くなつたのである◆惟ふに之からの世界は強大なる資本主義の力がアメリカより出でそれが八方に威力を揮ひ對内的社會問題の民衆運動と共に國際的性質を帶びた民族運動を激成する事であらう◆この二ツの運動は要するに『弱いものが強くならう』といふ運動で強くなるには量を結合して團結せねばならぬため或は勞働組合となり或は種々の結社となるのだ◆ニツチエーは力の哲學を說いたが力學の原則から云つても弱い力は強い力に抑え付けられてしまふ◆高壓電氣に掛つてはどんな力の強い猛獸でも講談師が見て來たやうな噓で堅めた百人力の豪傑例へば何百貫の鐵の棒をおがらのやうに振り廻す程の者でも忽ちアツと叫んで屁**子垂れてしまふのである◆そこで弱い**ものが強くならうと悶くのは當然の心的慾望で可不可の問題ではないが人間殊に現代の人間が人間として強くなるのは容易でない◆先づ第一に性格を錬えること第二に智識を進めること第三

に體力を強くすることと此の三ツが人間として眞に強くなる要件だ◆智識があつても性格に缺陥のある不德なものは眞に強くなれない體力が強くても智識が貧弱でお負に性格が練れてゐないでは眞に強くなれない◆これは個人に就いての話だが團體においても亦然りで以上の三ツが具足してゐないと眞に強くなれない◆それから自分の眞實の力よりも他の力を藉つて強がるものは世にいふ虎の威を藉る狐のやうなものは強者たるの資格を備えて居ない◆次に物質の力を藉りて威張るもの卽ち紙幣を山と積んで鼻息を荒らくする成金や阿堵物を濫用し害用して暴威を逞うする富豪や資本家も強者の資格を具えたものと言へない◆處が現代の資本主義的經濟社會には斯うした僞的強者やその力を藉りて我は顏するものが尠くないので種々の弊害を生じたのだ◆資本主義の弊とは此の意味のことを云つたものであるが斯樣な間違つた強者が多くなると強者の權利が濫用されて弱肉強食の勢ひを助長する◆狼は兎を屠り鷹は雀を喰ひ鯨は鰯を呑んで活き人間は凡ゆる生物の生命を絕つて活きてゐるそれが僞らざる事實でそこに犧牲が生ずる◆故に弱肉強食は自然の理法とも云へるが此の天地宇宙の理法以外における弱肉強食は多くのものを饑餓と窮乏に泣かしめ一將功成りて萬骨枯るといふやうな事になる◆全體のために部分が國家及び社會のために個人が犧牲にならねばならぬのは萬已むを得ない場合にのみ限らるゝことである◆人間は他の生物と異なつて居り現に他の多くの生物の生命を絕つて活きて居るのだから此のうへ人間同士が非常時でない平時において叨りに屠り合ふのは滔天の罪惡だ◆況んや強者の權利が濫用され眞の強者でない僞の強者が自分の實力でない他の力を藉りて弱者苛めをするのは正しく人道に背く◆眞の強者は自己の實力によりて寧ろ弱者を援け弱者の味方となつて僞強者の橫暴力を挫ぐ◆日本の武士道はそこに確乎たる信條を有つて居り眞の武力はこゝから起り或は自己防衛のため或は正義のために劍を拔くのである◆然るに今日の資本主義の強力は資本といふ物質の力を過信しその力を藉りて多くの弱いものを苦めるので虐げられた民衆や民族の間から反資本主義や反帝國主義の聲が起つたのだ◆力には或る程度の制約を要する然らざれば狂風怒濤の如く奔逸してその力のために種々の慘憺たる光景を描き出すことになる◆現代社會が則ちそれではないか之れに反抗すべく起つた民衆運動や民族運動を過激に走らしめぬ工風が大切といふものだ。



この頃の歌

白木信子

海風はまともに吹きて夕涼し磯の砂原砂とばしつゝ

せまりくる磯の香たかしはるかなる人戀ふまも潮はみちくる

きゝなるゝ浪の音なれど月今宵きゝつゝあればすゞろかなしも

◆

いたづきてひかげにあれば子供等の蟬鳴らしつゝすぎゆきにけり

◆

しづかなる夕べなりけり朝顔をしみ〴〵見れば實をつけゐたり

夏の夜を人に交りてわれもまた蟲賣る店の前に立ちをり

◆

—

たのまれて叔母の小袖を縫ふ糸のより〳〵戀し郷里(ふるさと)の家



亡命の一家族

奉天　傳　源　芳

私の只今の住宅は、二等道路に面してゐて、座敷が六疊、それに一間の床が付いて居り、それから玄關が三疊、臺所の側が四疊半で、押入れは二ッもある。薄給のサラリーメンには結構な方だが、そのうへ裏の窓際に二坪ばかりの小庭があり、その庭には松の木が二本植へられてゐる。私がこの家に移つたのは昨年の秋も漸く老ひやうといふ九月であつた。前住者は花園に趣味のなかつた人と見ゑ、庭に草花を栽培した形跡なく、松の木も放たらかして置き、根本にあしらつてあつたとも思はれる庭石さへ、漬物の重しに使つたものらしく、まだ糠が着いたまゝ傍に棄てゝあつた。

引越した翌日、家の整理もそこ〳〵に、私は松の枯葉を拂るやら摘込みをするやら、重い石を擔いでその根元にあしらつたりした。荒れ果てゝゐた庭もそれで見違へるやうに好くなつた。

まだ引越しの挨拶もしないのに、裏の四軒長屋に住む妻君連は、廣くもない空地に滿艦飾のやうに干してあるおむつや襤褸を取りかたづけながら、

『大變お立派になりましたねえ。』

と言つて呉れた。それ程までに立派な庭になつたのである。

此の日、妻と私は交代で附近の錢湯に行つて浸り、歸つて來てから臺所の窓を開けて、今しがた打水した庭を眺め、その情趣に心を惹かれつゝ、靜かに夕餐を攝つて居た。その時、裏の四軒長家の二軒目の家から讃美歌のリズムが漏れて來て、四邊の空氣を震はせるのであつた。

『あら露西亞人が裏に住んでるんですネ。』

妻は這う云つて驚いたやうな顏をした。私も實は意外の念に打たれたのである。

× × × × ×

マリちやん……それは私の裏に住んで居る露西亞人の娘だ。本當は別に名前があるのだが私は自分でこう呼んで居る。今年十五だといふのに至つて無邪氣でそして悪戯盛りの娘である。マリちやんの家庭は兩親と兄さんと姉さんの五人だ。過激派に祖國を奪はれ、財を掠められ、さうして異國に亡命した人々は雪崩のやうに此の滿洲にも流れ寄つた。マリちやんの一家もこうした運命に繋がつて居るのだが親子兄弟四離して居るものが多い中に、この一家は珍らしくも一家打揃つて居る。これだけが不幸中の幸ひであらう。一家の生計はお父さんと兄さんが羅紗の行商をして支ゑてゐるが、姉さんは病身で寢床に親しみがちなので、炊事から洗濯物までお母さんの手一つでやつてゐる。

暖い日の午後日向に踞つてスカートを編んで居るマリちやんの姉さんを見た私は、

『御病氣は何うです……。』

もう顔馴染になつてゐた私は胸の邊りを押へて諷刺的に這う尋ねた。私の問は先方に判つたらしいがその返答が露語なので私には薩張り判らぬ。何か口を動かしながら蒼白い顏に寂しい微笑を浮べた。それに引かへ、妹のマリちやんは毎日歌つては刎ね歩く無邪氣な少女で、何の苦勞も知らぬらしく、歩く時でさへダンスでもやる樣に腰を浮べながら歩く。活動寫眞で見る都會の場末にある貧民窟の有樣を聯想させるやうな荒廢し切つたこのアパートメントにも平和は惠まれて居た。

マリちやんのお父さんと兄さんは未明に起き出で、朝食を攝ると直ぐ、一束の羅紗を肩にして行商に出掛ける。そのときお母さんと姉さんは屹度戸外まで見送る。そして一日の行商を終へた親子は、定つたやうに門口に待つてゐるマリちやんに出迎へられて、何か語りながら我が家に歸る。間もなく夕餐のテーブルに親子五人團欒して打寛ぐ。それが毎日のプログラムである。

それは丁度日曜の日であつた。一日とても休んだことのない親子二人は、何時もの通り家内のものに見送られ、羅紗を肩にして行商に出掛けたが、その日の夕刻、何時にもなく親子は同じやうに羅紗を肩にした獘衣破帽の三人の露西亞人を伴れて歸つて來た。親子も何時になく晴やかな面持であつたが伴れの一人は足取も輕やかに鼻唄を唄ひながら片手に紙包みを提げて居た。廣くもない家の一間に擔いだ荷

物は片附けられ、携はた紙包みの中から小一貫目もあらうと思はれる牛肉が取出され、それがマリちやんのお母さんの手に渡ると、やがて夕餉の仕度に取掛るのであつた。

私は彼等の行動に一種の好奇を感じ、窓越しに注目してゐたが、軈て狹くるしい一室の卓を八人のものが圍んで、夕餉の皿を突付き出した。ウォッカーかそれとも安價な白酒（パイチユウ）か。一同は幾たびかコップを擧げながら其の都度何か口ずさんだ。間もなくマリちやんの音頭で讃美歌のリズムが耳朶に響いて來た私は此の刹那この人々の有する高く清い信仰の前に頭を垂れさせられた。

讃美歌が濟むと後は忽ち打つて變つたシーンとなつた。これ等の人々にとつての唯一の歡樂境は斯うして出現した。マンドリンを彈ずるもの、聲を震はせて唄ふもの、果ては踊り出すものなどあつて、此のところ、亡命の一家族には似合はしからぬ暢氣さであつた。

『時には斯うした歡樂がなくては生の苦みに堪ゐまい』と私は思つた。併しながら力強い國家といふパックを持たない此等の人々に取つては此の歡樂も果敢ないものに相違ない。

この亡命の一家族には人類として最も苦痛な輕蔑と虐待が深刻にコビリついて居た。炊事場の流しを汚すとか、貧乏のくせに夜遲くまで亂痴氣騷ぎをするとか云つて、隣家の日本人のおかみさんが面と向つて口汚く罵つたことがあり、或時などは不躾にも部屋を覗き込んで、

『何んてマア臭いことでせう。まるで豚小屋の樣ですわ。本當に迷惑して仕舞ふわヨ。大家さんに一

ッ抗議して立退かして貰はなくちや……。』

眉を顰めて這んな侮蔑の言葉さへ浴せかける。またマリちやんを捕へてあられもないことを云つて揶揄ふものもある。勝氣なマリちやんの姉さんは、病氣のせいもあらうが、斯んな時には戰く唇を血の滲むほど噛みしめて、碧の眼に露を宿すことさへある。そして、

『あなた方はなぜ弱い私共に同情を寄せて下さらないのですか。』

と言つた樣に口ずさむのであつた。若しも此の人に國家の背景があつたならば、西洋人と見れば一も二もなく殆んど無條件で尊敬したがる現代の日本人は、たとひ敝衣破帽の見苦しい露西亞人であつても寧ろそれが藝術の象徵として面白いなど云つて、或は尊崇の的とするかも知れぬ。それにしても人間は何うして斯う弱いものと見ると罵つたり蔑んだりするのであらう。

『人間死すとも斷じて亡國の民となるなかれ。』亡命の一家族の現在の境遇に立入つて考察した時、私は云ひ知れぬ無量の感に打たれ、遂に心の中でこう叫ばざるを得なかつた。さうして私は更に、彼等には這うした侮蔑と虐待のほか、一層深刻な生活苦が何時もこの人々より一歩先んじて居ることを思つて彼等の心の惱みがあり〱と分り、さうして深い同情と憫れみを感じた。

一束の羅紗を肩にして早朝から嘲笑の中を殊さら平氣を装ふて、

『羅紗安い。買ふよろしい。』

と場末から場末を歩き廻る此の亡命の一家族を支ゆる親子二人、こちらでは眞劍になつて居るが、相手の多くは初めから素見氣分で、五圓の物を一圓にせよとか、負けねば不要だとか云つて、品物を見散らしたうへ吐き出すやうに言ふ者さへある。三日も歩き廻つて一ヤール賣らぬこともあるだらう。『食うや食はずの渡世』。それはこれらの人々に與へられた生きた言葉である。

病身で常に蒼い顏をしてゐるマリちやんの姉さんは時々床に伏せる事がある。その時には菓子を携へて來るもの、果物を持つて訪れるもの、乏しい懷から醵金して醫者を迎へるものなどあつて、同じ祖國を失つた亡命の露西亞人同士には溫かい同情の血が流れてゐる。これを知つた時、その親身も及ばぬ心づくしに、私は時々涙ぐましい氣持になることもある。私はこの人情美に打たれて或る日妻に命じて粗末な菓子箱を贈つたことがある。その時、彼女の兩親は態々私の宅に來て、幾度か頭を下げて感涙に咽ぶのであつた。言葉こそ通じないが私にはその心からの感謝を知ることが出來た。

貧乏の上に仰臥し、周圍に對する反感を押包み、さうして附近の日本人を見ると、

『お早う……。今晩は……。』

と此の一家族のものはうろ覺ゐの日本語で挨拶することを忘れなかつた。私は每日曜日每にマリちやんの音頭で一室から洩れて來る敬虔な讃美歌のリズムに耳を澄ました。これらの人々の信仰の前には頭を垂れざるを得ないのである。私ばかりではあるまい。罵る者、嘲ける者、此の亡命の一家族の弱さに

付け込んでこれを蔑ろにする者も、同じ人間である以上、そして良心を失はぬ限り、心の靜かな時、彼等の境遇とその信仰生活に多少の情けを起さずには居られないであらう。



大自然の力に觸れて

木公山人

春から夏、夏から秋へかけての私の住ひは萬綠に包まれる。

屋後青山雨欲晴。閑庭綠樹一禽鳴。塵寰有此幽玄境。獨讀我書心自平。

の一首を得たが、大氣はすが〳〵しく、植物の吐く酸素を呼吸するばかりでも、健康にどれほど益するか知れない。こゝに住つてから私は病氣に惱まされたことがない。心は常に平かで、彼の明鏡止水の如くでないとしても、餘り俗念が起らず、起つても拂拭するに困難を感ぜぬ。

既に秋に入つたが、周圍の萬綠はいよ〳〵濃厚となり、桃や梨が實のり、小さな空地を畑とした場所には胡瓜、西瓜、茄子などが實のり、じやが芋は掘出され、里芋は地下に大きくなり、その青い葉が風

にひら〳〵と踊つてゐる。朝早く起きて、この小さな畑に出ると、清い風が吹いて來て、何とも云へない爽かさを覺ね、自然の恵みの深いのを今更の如くしみ〴〵と感ずる。

この小さな庭は、その三分の一ばかりを小園となし、そこには朝顏、菊、コスモス、吾妻菊、ダリヤその他いろ〳〵の花卉を栽培してゐる。朝顏は盛りを過ぎ、コスモスには花を付けたのがあり、之からといふのもあり、ダリヤも盛りの時を過ぎたが、吾妻菊はこれからだ。菊は九月から十月へかけてのもので、まだ蕾を持たぬけれども、日一日と背を伸ばして行く。

小園のこのあたりには、また野草が離々として生ひ盛り、野菊や野朝顏が我れ劣らじと咲き誇つてゐる。謂ゆる野趣掬すべしで、野の花も捨てがたいものであるが、人間が精を出して培つた草花に比べてみると、單調で、一本調子で、何となく妙味に乏しい。

そこで私はこんなことを考へてみた。

『人間は智識の優れた生物である。この優れた智識を以て、猛獸を征服し、毒蛇を征服し、空を翔ける豪鳥を征服し、海を泳ぐ雄魚もまたこれを征服し、さうして自ら萬物の靈長であると自惚れる樣になつた。またこの優れた智識を以て、科學を作り、いろ〳〵な發明をなし、己れの生活を極めて複雜な極めて便利なものとなし、さうして自然を征服したと自惚れるやうになつた。この自惚れの結果、自然の恵みを忘れ、神の力を信せぬ者さへある樣になつた。』

『教育によつて人間の優れた智識はいよ〳〵優れたものになつた。天文を究め、日月の運行を観測し、地上には花の如く文化を咲かせ、空には飛行機や航空船を飛ばし、海には無雑作に潜水艇を走らせ、どうだ偉からうと、ます〳〵自惚れの鼻を高める樣になつた。』

『だが飜つて靜かに考へてみるがいゝ。我々人間の智識がいかに優れてゐても、いかに凡ゆるものを征服しても、人間の力で靈を備ゐた虫けら一匹も作ることは出來ぬじやないか。人間の生んだ科學の力は偉大であるが、その科學も自然の惠みを離れては成立せず、大きな天變地異がやつて來ると科學によつて築かれた總てのものは骨灰微塵に碎かれてしまふではないか。まことに自然を征服したものならば、どこまでも自然に打克つべき筈だのに、それに打克てないのはどうしたものだ。人間の優れた智識の產物たる科學の力も實は果敢ないものではないか。』

『科學は人間の理智を明らかにし、人間の智力を向上させ、ます〳〵進んで已まないが、どんなに理智の發達した科學者でも自分自身の明日の運命はこれを知り得ない。孔子は(我れ生を知らず奚んぞ死を知らんや)と云つたが、生れるのは這うふわけ、死ぬのは斯うしたわけと、その理屈だけは知り得ても、生と死との何物なるかは知り得ない。宇宙の謎は依然として宇宙の謎だ。科學の鍵を以てこの宇宙の謎を解くことは永久に不可能である。』

『そこに迷ひが生ずる。どんな學者でも、一たび迷ひが起ると、自分の力の果敢なさに呆れ、悶ゐたり

惱んだり又は苦んだりする。人間以外に人間の運命をつかさどる大きな力があることが之れで分るとその力を信じ、その力を信ずるところに宗敎の必要を認める。宗敎も要するに人間の作つたものだがその根源は天に則り、自然の大きな力に依據してゐる。』

『人間生活そのものも自然の惠みを離れては存立し得ない。機械を作つたのは人間の力だ。家屋や衣服や食物を作つたのも人間の力だ。しかしその機械の原料、家屋や衣服や食物の原料は、皆悉く自然のものではないか。自然の惠みがなくては今日の謂ゆる文化生活も成立つ筈がない。人間の優れた智識と、その智識の產物たる科學も、自然の惠みの下に生ひ育つたのだ。』

斯んなことを考へながら、人間の培つた植物や花卉や蔬菜と野生のそれとを比較してみると、その相違はたゞ複雜と單純、有りのまゝと作られたものとの差だけで、その生の根元は一つであることがハッキリと意識される。敎育されない原始人は、野性的で、能力が極めて低いけれども、その代り性質は素朴であつて、野生の植物や動物の强きが如く、その體力もなかく强い。人間によつて培はれ養はれた植物の多くは、人間の賞玩に値ひするやうに美しく綺麗に見ゆるけれども、强さにおいては野生のそれに及ばない。少しでも培養を怠ると、根はいぢけ、葉は凋み、直ぐ弱つてしまう。

私の家のうちには金絲鳥が飼はれてゐる。美い聲で鳴く。しかし弱い。野生の鳥を久しく籠のうちに閉ぢ込めておくと、馴れるに隨つて、ヤハリ段々體力が弱くなる。

この理法から考へて、餘りに人爲の細工の勝つた現代の文化生活なるものは、人間を籠の鳥のやうにし、次第に人間を惰弱に導き、外形的に進んで內面的に退くやうなことになりはせぬであらうか。文明の爛熟した羅馬は亡びた。物質文明の花の榮ゑたあさは疑問であらう。

植物の野生は概して單調だが、動物の野生のうちには人間に飼はれるそれよりも複雜で、美麗で、而も強いのがある。野生の植物は妙味に乏しい、といふのは、人間だけの考へで、大自然の妙味は人間のいふ妙味以上に大きなものであると思ふ。人間の力を藉らないで、自然の惠みの下に、雨や風に打たれながら、すら〳〵と生ひ立つてゆく野生の動植物には慥かに強いところがある。

人間でも野蠻人の體力は文明人よりも強い。原始生活をする者ほど、よく艱難に堪へ、よく窮乏に堪へる。無學文盲の原始生活に近い生活をしてゐる支那苦力の勞働力には、いかなる文明人も及ばず、文明人の仲間入りをした我々日本人も、苦力の勞働力には敵はない。

人間は人間の智識のみを賴まず、自然の惠みの深いことを知り、人間の力以上に強い力のあることを知り、常に感謝の念をたゝへて生活したなら、その生活はいかに幸福であらうか。

私は步を廻らして小庭の外に出た。すると草むらに蟲の聲がして、風の音も、空の模樣も、己に秋のものと知られ、いよ〳〵爽かな晴れ〴〵とした氣持になつた。

× × × × ×

研究會の趣旨目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主とする間接機關でありますが研究と共にその研究の結果を發表し講演會その他の集會をも催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評と相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて贊助員及び普通會員とし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名並に幹事若干名で外に顧問、相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は贊助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要と認めたるとき又は評議員五名以上の請求ありたるとき開くのです評議員會は今日までに既に拾回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以てこれに充て會費は贊助員毎月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

◎聖代餘光集……相生氏寄贈

◎滿洲現代史……滿鐵庶務部調査課

◎國際的に見たる生活標準問題……

◎本邦企業集權の趨勢……以上、滿鐵東亞經濟調査局

◎大連市職業紹介所事業概要……大連市職業紹介所

◎秋園文集（二）……西田秋園氏寄

◎滿洲日日新聞、遼東新報、大連新聞、日滿通信、地方經營（滿鐵地方部庶務課）、大陸青年、滿蒙、南滿教育、讀書會雜誌、海友、調査時報（滿鐵調査課）、滿洲建築協會雜誌、極東、滿洲技術協會雜誌、支那研究、滿洲公論、無上道、聖德、滿洲經濟時報、關東新聞（以上大連）◎警察彙報（關東廳警務局）◎大陸日日新聞、奉天每日新聞（奉天）◎調査彙報（長春商議所）調査時報（滿鐵哈爾賓事務所）◎大乘（上海）◎調査彙報（朝鮮總督府）、朝鮮地方行政、朝鮮及朝鮮人、京城日報（以上京城）◎臺灣時報、臺法月報（以上臺灣）◎都市問題（東京市政調査會）、東洋、支那、愛國婦人、人道、婦人新報（以上東京）◎東亞經濟研究（山口）◎福岡日日新聞（福岡）

每月一回發行

定價表

普通號六拾錢、特別號七拾錢

册數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八拾錢	郵稅共
一箇年分	七圓五拾錢	郵稅共

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵券代用は一割增

廣告料

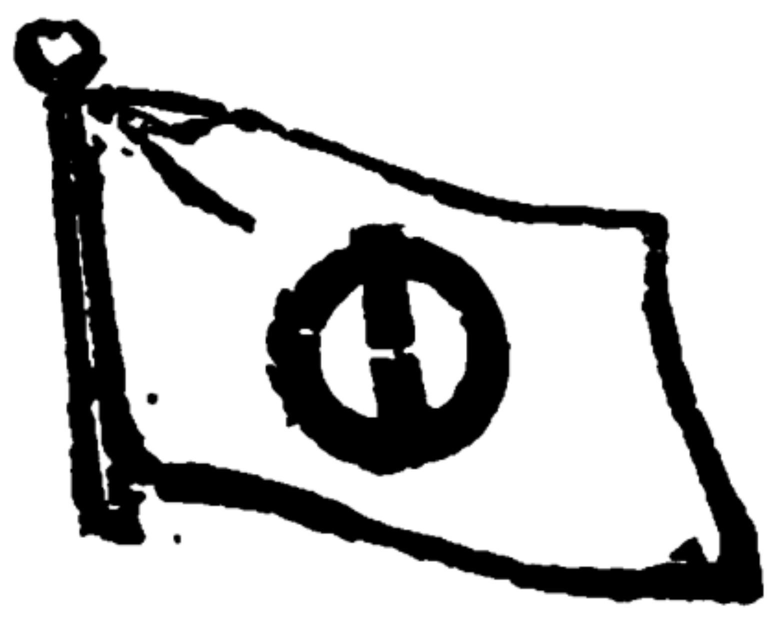
等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

●三回以上は割引可仕候●年極めは特別に御相談可致候
●〆切りは前月二十日限り

大正十四年九月一日發行

發行人　山田武吉
編輯人　大內四郎
印刷人　太田信三
印刷所　小林又七支店
大連市大山通

發行所　滿洲社會事業研究會
（電話五四二二六番）
大連市松山町五番地七號
振替口座大連一二三九番



活版、石版、寫眞版、凸版、凹版、アートタイプ、三色版、
電氣版、亞鉛版、木版等、諸製版印刷
和洋諸帳簿、製本、活字鑄造販賣、和洋紙並に印刷諸材料販賣

滿洲日日新聞社

大連東公園町　振替貯金口座大連六〇番

日刊

日滿通信

本通信の目的は滿洲の實狀及び眞相を內地に宣傳し同時に母國の事情を滿洲在住者に報道し以て其の相互の連絡協調を圖るに在り

大連市佐渡町十八番地

日滿通信社

電話三七〇〇番

本通信は植民地における通信界の權威なり、必要の場合は時々特別號を發行して迅速、正確、機敏に報道す、何人も見て鴻益あり

FC

福昌公司

大連市山縣通二一三番地

電話代表番號七一一番

輸出入　保險　倉庫　土木、建築

▲營業品目

◎東京製綱會社製ワイヤロープ、マニラロープ、ターロープ一手販賣

◎安川電機製作所電動機、發電機、變壓器、配電盤、其他附屬類一手販賣

◎米國ヴアキユーム鑛油會社製車軸油、機械油、汽筒油、自動車油、其他各種滑油並にグリース類一手販賣

◎瑞典SKド會社製SKドボール並にローラーベアリング一手販賣

◎丁抹サブロー會社製炭酸瓦斯式冷藏裝置請負

◎イングリツシユ、エレクトリツク會社製電氣汽關車、ダービン發電機裝置其他電氣機械類

◎英國ジヨン、アイ、ソーニクロフト會社製貨物用自動車、附屬品並に船用機器汽鑵一手販賣

◎日本皮革會社製鳳凰印ベルト一手販賣

◎日本化學工業會社製象印カーバイト一手販賣

◎米國フアイヤーストーン會社製各種タイヤー其他護謨製品類一手販賣

◎米國ヴイクター會社製蓄音器各種レコード並にアルバム類

◎歐米各種乘用貨物用自動車並に附屬品一式

◎金物、諸機械、米松其他木材アルコール、セメント麥粉

◎砂糖、米、海產物、洋酒、毛糸、其他各種洋雜貨類輸入販賣

◎ドロマイト、石灰石、花崗石、土砂採掘販賣並に煉瓦製造販賣

▲保險代理

◎豐國火災保險株式會社

◎大阪海上火災保險株式會社

◎日本共立火災保險株式會社

◎セノース、ブリチシ、エンド、マーカンタイル保險株式會社

大正十一年八月十五日

人事

滿洲社會事業研究會

相談